

令和5年度 日高の教育



義務教育学校 武蔵台小中学校 4月1日開校

日高市教育委員会

日高市教育委員会



教育長
中 村 一 夫



教育長職務代理者
山 川 治 美



委 員
島 村 由 起 男



委 員
芳 澤 佐 織



委 員
馬 場 優 子

役 職 名	氏 名	任 期
教 育 長	なか むら かず お 中 村 一 夫	令和4年4月1日～令和7年3月31日
教育長職務代理者	やま かわ ほん み 山 川 治 美	令和5年3月19日～令和9年3月18日
委 員	しま むら ゆき お 島 村 由 起 男	令和2年10月1日～令和6年9月30日
委 員	よし ざわ さ おり 芳 澤 佐 織	令和3年7月1日～令和7年6月30日
委 員	ば ば ゆう こ 馬 場 優 子	令和5年1月1日～令和8年12月31日

目 次

日高市の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
教育委員会事務局・教育機関の組織・・・・・・・・	2
主な事務分掌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
令和５年度 日高市教育行政重点施策・・・・・・・・	4
教育予算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
生涯学習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
公民館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
文化財保護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
高麗郷民俗資料館・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	24
スポーツ・レクリエーション・・・・・・・・・・	26
小・中・義務教育学校・・・・・・・・・・・・・・・・	29
教育センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・	40
学校給食・・・・・・・・・・・・・・・・・・	42
教育費支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・	44

資 料

歴代の委員長

歴代の教育長

令和４年度教育委員会会議

教育委員会職員数

児童生徒数・学級数

未就学児数

児童・生徒の推移

令和５年３月中学校卒業者の進路状況

学校施設

指定文化財一覧・国登録有形文化財一覧

教育委員会関係機関一覧

教育委員会表彰

教育委員会関係略年表

日高市の概況

1 位置

日高市は、埼玉県南西部地域にあり、東京都心から40km圏内に位置し、川越市、狭山市、飯能市、毛呂山町、坂戸市及び鶴ヶ島市の6市町に接しています。

市内鉄道網は、JR八高線が市中央部を南北に通じ、また、JR川越線が市中央部の高麗川駅から東に延びて、更に市西部を西武鉄道西武池袋線が通っています。

市内の主要な道路網は、市東部に国道407号、市西部に国道299号がそれぞれ南北に通じ、県道川越日高線が東西にこれらを結ぶ幹線道路となっています。更に、市東部に首都圏中央連絡自動車道が通っています。

2 自然

本市は、面積47.48km²で、市域の約70%が平野で占められています。地勢は、秩父山地の外縁部に当たり、市西部の高麗丘陵、東部の入間台地に大別され、丘陵と台地の間を県下有数の清流であり、カワセミの生息する高麗川が流れています。

気候は、太平洋岸式気候の内陸的傾向を示し、一般に四季を通じて穏やかであり、秋には曼珠沙華の群生地となる巾着田など、豊かな自然が残されています。

3 沿革

奈良時代の初期、元正天皇の霊亀2年（西暦716年）、駿河、甲斐、相模、上総、下総、常陸及び下野の7か国の高麗人1,799人を武蔵国に移して高麗郡を置いたと「続日本紀」に記されており、この郡の中心が本市の辺りであったといわれています。

昭和30年2月11日に高麗村と高麗川村が合併して日高町が誕生し、翌年の9月30日に高萩村を編入して、現在の区域となりました。

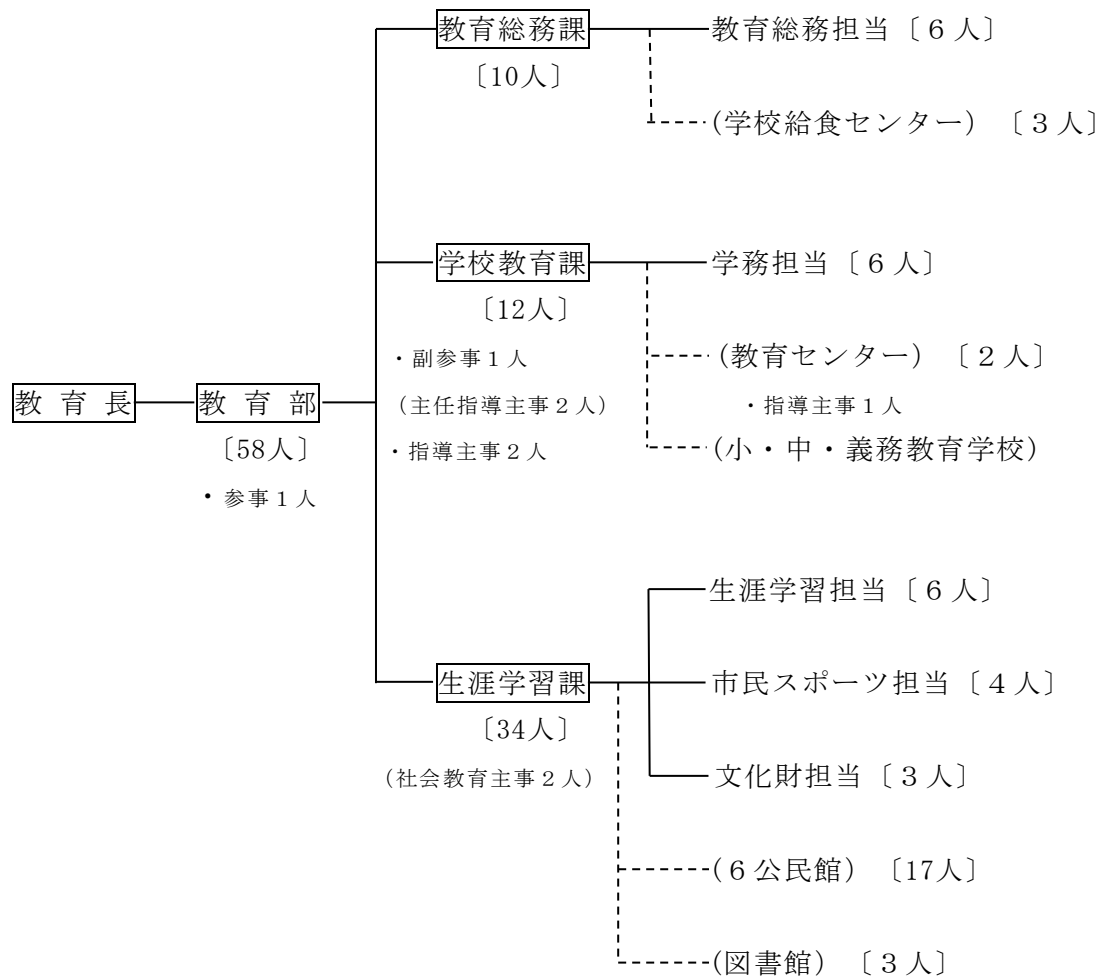
もともとは、純農村地域でしたが、昭和40年代からの民間企業を中心とした大規模住宅地の開発等により人口が急増し、平成元年には人口5万人を突破し、平成3年10月1日には市制が施行されました。その後平成24年以降、人口は減少に転じています。

単位：世帯・人

区 分	世帯数	人 口			1世帯当 たり人員	人口密度 1km ² 当たり	人口増加率
		総数	男	女			
令和2年国勢調査	22,379	54,571	26,953	27,618	2.44	1,153	
令和5年4月1日現在 (住民基本台帳人口)	24,787	54,557	27,098	27,459	2.20	1,149	△0.42

※人口増加率＝（今年度人口－前年度人口）÷前年度人口×100

教育委員会事務局・教育機関の組織



※ () 内は教育機関等を表す。

※点線は所管部署の関係を表す。

※6 公民館とは、高萩公民館・高麗川公民館・高麗公民館・高麗川南公民館・高萩北公民館・武蔵台公民館をいう。

※令和 5 年 4 月 1 日現在の人数。

主な事務分掌

組織		事務分掌
教育総務課	教育総務担当	教育委員会会議、規則等の制定改廃、職員の任免その他の人事、入学準備金の融資、教育広報、叙勲・表彰、公印の管理、教育行政に係る相談、教育事務の点検評価、教育振興基本計画総合的な施策の大綱、総合教育会議、教育施設等の設置・統合及び廃止、教育財産の管理・営繕、教育施設の整備計画
	学校給食センター	施設及び設備の維持管理、運営委員会、学校給食の調理、給食物資の調達・調整及び配送、学校給食計画、食品の栄養研究、安全衛生管理
学校教育課	学務担当	学齢児童及び生徒の就学及び援助、通学区域に関すること、生徒指導、学校職員及び児童並びに生徒の保護・衛生・福利及び厚生、県費学校職員の人事、各学校間の連絡事務、調査及び統計、学校教育の指導及び助言、教科書の採択に関する事務、人権教育、学校医などの公務災害補償
	教育センター	教育に関する専門的・技術的事項の調査研究、教育関係職員の研修運営、教育相談及び就学支援の実施、学校研究等、教育に関する資料の収集及び提供、準教科書・副読本その他教材
生涯学習課	生涯学習担当	生涯学習振興に係る企画及び調整、生涯学習推進の条件整備、生涯学習の普及及び奨励、社会教育計画、社会教育機関の運営・指導及び事務調整、社会教育委員、社会人権教育、青少年教育、青少年育成、芸術文化の活動、社会関係団体の指導及び育成、成人教育
	市民スポーツ担当	スポーツ振興に係る総合計画、スポーツの振興、社会体育関係団体の指導及び育成、レクリエーションの普及奨励、スポーツ推進委員、体育施設の設置・管理・廃止、学校体育施設の開放、体育施設の利用及び営繕
	文化財担当	市指定文化財の指定及び解除、文化財の調査・保存・管理及び活用、文化財保護審議委員会、文化財の保護
	公民館	公民館事業の調査研究、公民館利用サークル・団体等の育成指導、学習情報の収集・整理及び提供、学習相談機能の充実、公民館との連絡及び調整
	図書館	図書館資料の収集・整理・利用及び相互貸借、読書案内及び調査相談、配本、読書の普及及び奨励、集会・展示会の開催、市史編さん資料の保存及び活用、施設及び設備の維持管理、図書館協議会、関係機関・団体等との連絡及び調整

令和 5 年度 日高市教育行政重点施策

第 3 期日高市教育振興基本計画（令和 3 年度～令和 7 年度）をより実効性のあるものとするため、当該年度に重点的に取り組む施策として「日高市教育行政重点施策」を定めています。令和 5 年度は次の 10 施策を重点施策に位置付けて取り組んでまいります。

重点 1

国際社会で活躍できる教育の推進

（基本目標 1 確かな学力と自立する力の育成

施策 2 伝統と文化を尊重しグローバル化に対応した教育の推進）

■重点とする事業 英語教育推進事業（25,398千円）

海外留学擬似体験事業（4,400千円）

英語検定 3 級以上の合格率向上のため、試験対策として筆記試験及び面接試験に向けた講座を開設し受験指導を行います。また、中学校 3 年生及び義務教育学校 9 年生が受験する英語検定の手数料を負担します。

英語によるコミュニケーションへの興味や関心を高め、学習意欲の向上や国際的な視点を持った生徒を育成するため、中学校 2 年生及び義務教育学校 8 年生を対象に、海外留学中に想定される様々な場면을擬似的に体験する「海外留学 1 DAY ツアー」を行います。令和 5 年度は、これまでの成果と課題を踏まえ、一層英語に触れる機会を増やしていきます。

重点 2

不登校対策の推進・学校適応指導教室による支援体制の充実

（基本目標 2 豊かな心と健やかな体の育成

施策 2 いじめ防止及び不登校対策の推進）

■重点とする事業 学校適応指導教室事業（273千円）

いじめや不登校、引きこもりなどに直面する児童生徒個々の課題や悩みの解消に向け、生涯学習センター内に設置する「教育支援センター（適応指導教室）」に加え、新たに、高萩中学校内に同様の機能を整備し、支援体制の充実に努めます。

重点 3

学校給食の充実

(基本目標 2 豊かな心と健やかな体の育成)

施策 5 児童生徒の健康管理と保持増進)

■重点とする事業 学校給食運営事業 (156,020千円)

児童生徒へ安心・安全でおいしい給食を提供するとともに、効率的な学校給食運営を行うため、調理業務等の民間委託を開始するとともに、献立におかずを1品追加します。

重点 4

学校施設の整備の推進

(基本目標 3 質の高い学校教育の推進 施策 3 学習環境の整備と充実)

■重点とする事業 高萩北中学校校舎改修事業 (390,600千円) 繰越財源含む

高萩北中学校は昭和59年に建築され、40年近くが経過し老朽化が進行していることから、令和4年度から令和5年度にかけて大規模改修工事を実施します。令和5年度は特別教室棟、プール棟の改修工事を実施します。

重点 5

コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進

(基本目標 4 コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進)

■重点とする事業 コミュニティ・スクール推進事業 (4,950千円)

小学校維持管理事業 (375,767千円)

生涯学習推進事業 (2,620千円)

学校運営協議会の活動を充実させ、「地域とともにある学校づくり」を進めるとともに、地域学校協働本部とも連携を図りながら、「学校を核とした地域づくり」を目指し、義務教育9年間を見据えた教育課程の編成を行い、小中一貫教育を推進します。

義務教育学校として日高市立高根小中学校を設置するため、施設の改修や開校に向けた準備を進めます。

重点 6

教育施設の整備の推進

(基本目標 6 生涯学習の振興と人権教育の推進)

施策 1 生涯学習推進体制の充実)

■重点とする事業 公民館維持管理事業 (教育総務課) (121,936千円)

高萩北公民館は昭和56年に建築され、40年以上が経過し老朽化が進行していることから、令和5年度から令和6年度にかけて大規模改修を実施します。令和5年度は改修工事に向けた工事設計を実施します。

重点 7

文化財の活用

(基本目標 7 歴史・伝統文化の継承と芸術文化の振興)

施策 1 文化財の保護と活用)

■重点とする事業 文化財保護事業 (2,977 千円)

文化財を後世に引き継ぎ、理解を深めてもらうため、市の歴史名勝を選定し、ホームページに解説や散策コースを案内する「日高の歴史名勝ナビ」を作成します。

重点 8

芸術文化の振興

(基本目標 7 歴史・伝統文化の継承と芸術文化の振興)

施策 2 芸術文化活動の充実)

■重点とする事業 芸術文化振興事業 (4,126 千円)

郷土の風土と文化を理解し、郷土を愛する子どもたちを育成するため、ひだか郷土かるたの作成を進めます。令和 5 年度は絵札を募集し、かるたを作成します。

重点 9

スポーツ活動の推進

(基本目標 8 スポーツの推進)

施策 1 スポーツ・レクリエーションの普及促進)

■重点とする事業 スポーツ教室・大会開催事業 (5,090 千円)

スポーツを通じた健康づくりに資するため、日高かわせみの里ツデーウォークを開催します。令和 5 年度は第 10 回の節目として記念大会を開催します。

重点 10

公民館でのスポーツ・レクリエーション活動の充実

(基本目標 8 スポーツの推進)

施策 1 スポーツ・レクリエーションの普及促進)

■重点とする事業 公民館健康維持事業 (617 千円)

令和 3 年 11 月に行った「健幸のまち」宣言の主旨である「健康で、生き生きと、幸せに暮らせること（健幸）を実感できるまち」の実現に資するため、市民に身近な公民館において、土曜日を中心に健幸関連の講座等「健幸サタデー」を実施します。

= 日高市教育ビジョン（令和 3 年度～令和 7 年度） =

自らの力と人との^{きずな}絆で
未来をつくる日高の教育

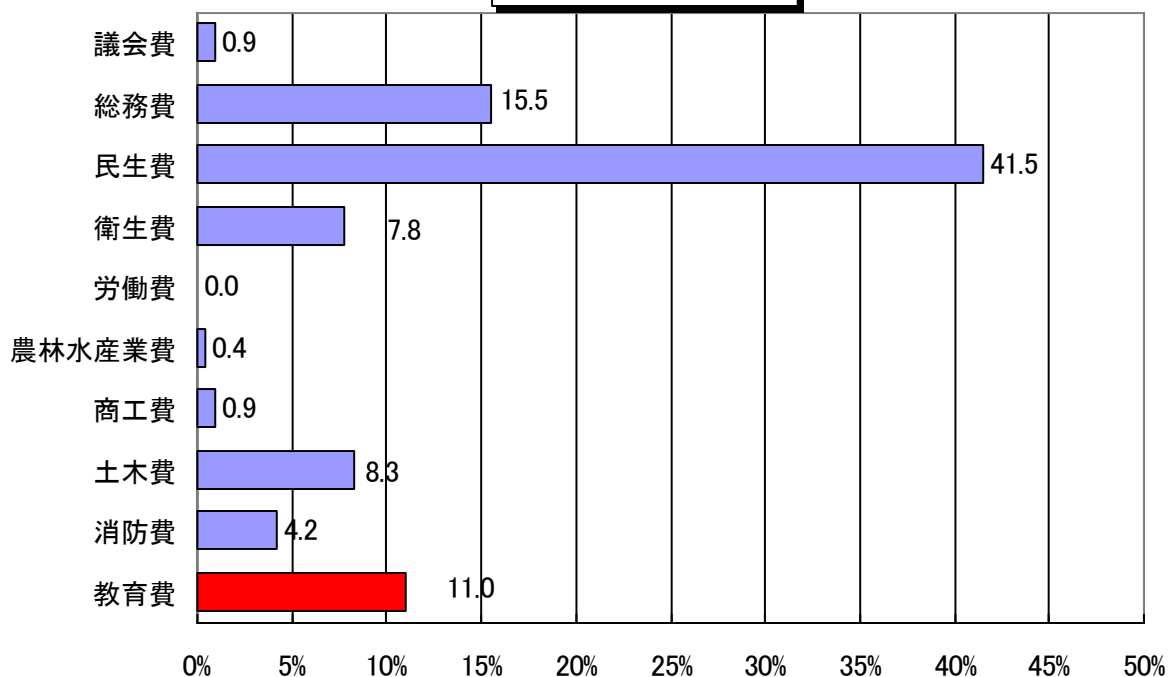
— 日高市教育委員会 —

教育予算の概要

1 令和5年度当初予算（一般会計）の内訳

予算科目	令和5年度当初 予算額(千円)	構成比 (%)	前年度当初予算額 (千円)
議会費	173,308	0.9	174,040
総務費	3,141,007	15.5	2,986,879
民生費	8,418,325	41.5	8,220,523
衛生費	1,580,911	7.8	1,517,468
労働費	672	0	826
農林水産業費	90,693	0.4	86,653
商工費	182,641	0.9	143,748
土木費	1,686,390	8.3	1,015,322
消防費	843,735	4.2	813,201
教育費	2,234,255	11.0	2,019,676
災害復旧費	3	0	3
公債費	1,542,209	7.6	1,518,865
諸支出金	355,851	1.7	242,796
予備費	40,000	0.2	50,000
合 計	20,290,000	100.0	18,790,000

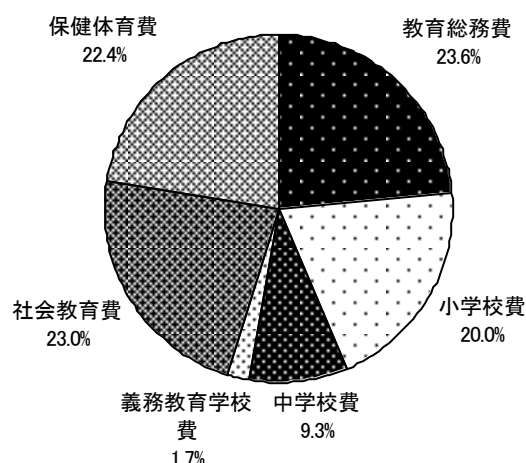
主な予算の構成



2 教育費目的別内訳

	令和5年度 当初予算額 (千円)	構成比 (%)	前年度当初 予算額 (千円)
教育総務費	528,355	23.6	507,791
小学校費	444,907	20.0	415,007
中学校費	207,633	9.3	150,602
義務教育学校費	38,886	1.7	0
社会教育費	514,421	23.0	397,836
保健体育費	500,053	22.4	548,440
合 計	2,234,255	100	2,019,676

教育費目的別の構成



3 教育費性質別内訳

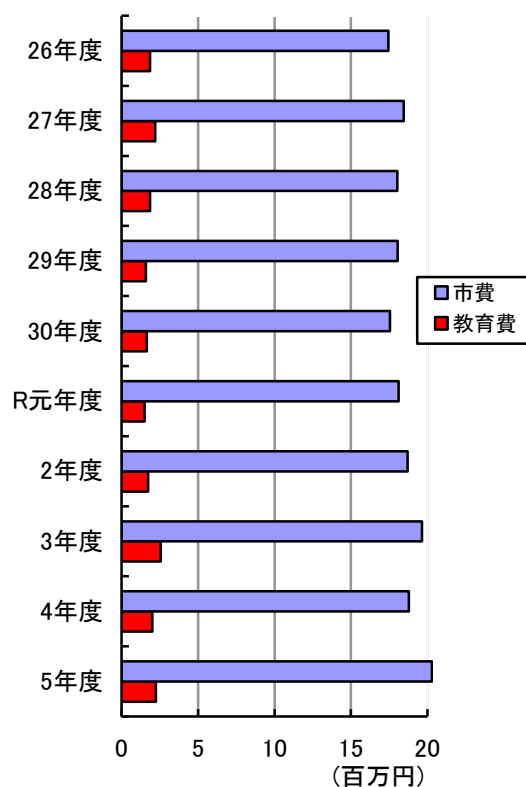
	令和5年度当初 予算額(千円)	構成比 (%)	前年度当初予算額 (千円)
人件費	595,622	26.7	666,463
物件費	1,153,359	51.6	914,229
維持補修費	31,521	1.4	30,965
扶助費	48,368	2.2	42,999
補助費等	25,402	1.1	16,354
貸付金	500	0	500
普通建設事業費 (うち補助事業)	379,483 (193,884)	17.0 (8.7)	348,166 (198,000)
合 計	2,234,255	100	2,019,676

4 教育費財源別内訳

	令和5年度当初 予算額(千円)	構成比 (%)	前年度当初予算額 (千円)
国庫支出金	107,623	4.8	108,342
県支出金	6,235	0.3	4,715
地方債	215,300	9.6	94,000
分担金・負担金	1,694	0.1	1,766
使用料・手数料	8,430	0.4	4,546
繰入金	164,743	7.4	176,269
諸収入	231,156	10.4	205,365
小 計	735,181	33.0	595,003
一般財源	1,499,074	67.0	1,424,673
合 計	2,234,255	100	2,019,676

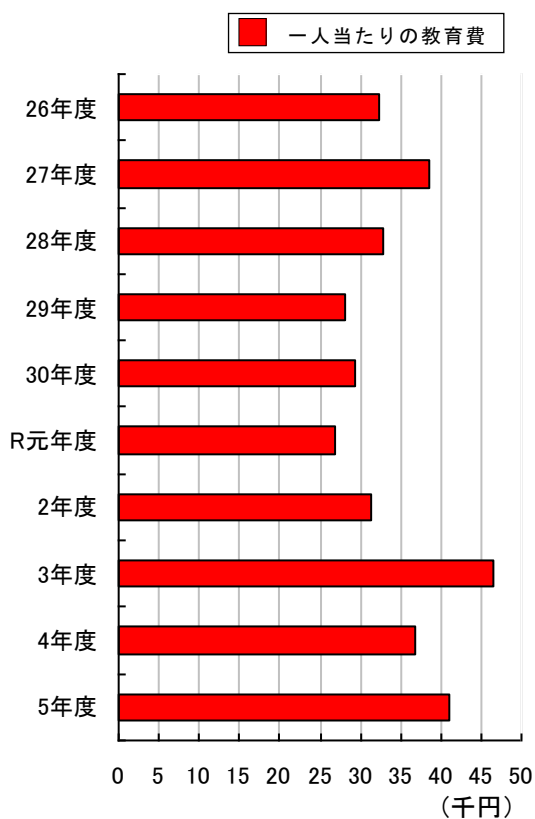
市費（一般会計歳出）に占める教育費の推移

年度	市費 (千円)	教育費 (千円)	教育費の割合 (%)
26	17,440,000	1,862,932	10.7
27	18,460,000	2,208,007	12.0
28	18,030,000	1,869,444	10.4
29	18,050,000	1,589,818	8.8
30	17,550,000	1,651,014	9.4
R 元	18,120,000	1,504,836	8.3
2	18,710,000	1,744,722	9.4
3	19,640,000	2,562,760	13.0
4	18,790,000	2,019,676	10.7
5	20,290,000	2,234,255	11.0



人口一人当たりの教育費の推移

年度	教育費総額 (千円)	人口 (人)	一人当たりの教育費 (円)
26	1,862,932	57,502	32,398
27	2,208,007	57,165	38,625
28	1,869,444	56,852	32,883
29	1,589,818	56,497	28,140
30	1,651,014	56,224	29,364
R 元	1,504,836	55,933	26,904
2	1,744,722	55,590	31,385
3	2,562,760	55,142	46,476
4	2,019,676	54,791	36,861
5	2,234,255	54,557	40,953

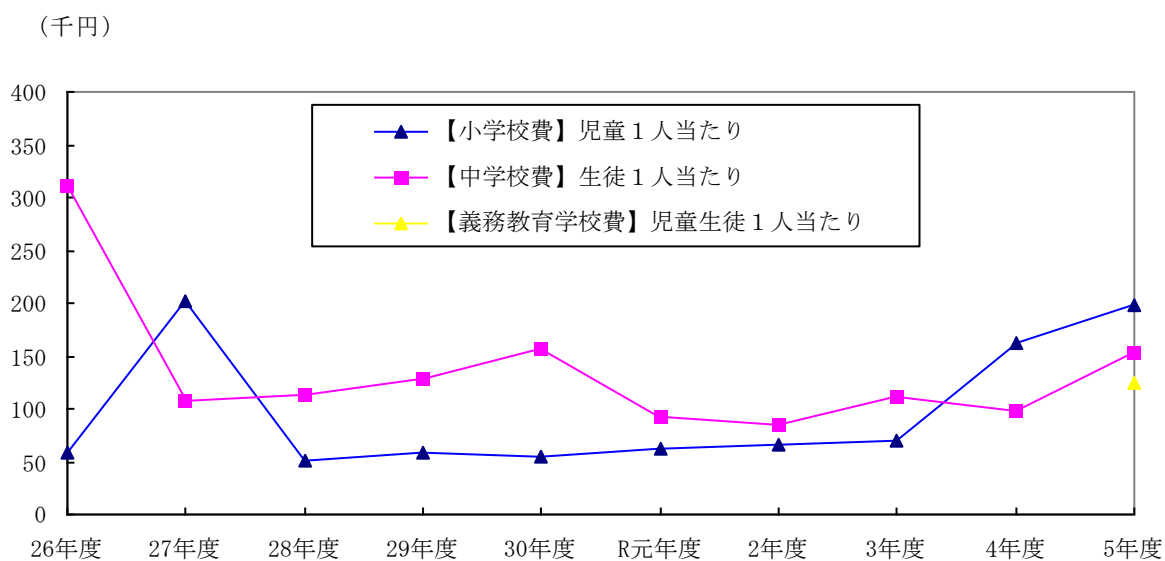


児童生徒一人当たりの教育費の推移

年度	小学校費 (千円)	児童数 (人)	児童一人当たりの教育費 (円)	中学校費 (千円)	生徒数 (人)	生徒一人当たりの教育費 (円)
26	191,333	3,268	58,547	455,110	1,459	311,933
27	658,166	3,270	201,274	160,626	1,500	107,084
28	164,851	3,214	51,292	174,850	1,535	113,909
29	180,094	3,127	57,593	204,234	1,587	128,692
30	164,197	3,040	54,012	248,447	1,586	156,650
R 元	187,091	2,962	63,163	144,539	1,579	91,538
2	187,076	2,828	66,151	133,772	1,558	85,861
3	183,815	2,680	68,588	174,162	1,574	110,649
4	415,007	2,544	163,132	150,602	1,535	98,112
5	444,907	2,246	198,089	207,633	1,362	152,447

年度	義務教育学校費 (千円)	児童・生徒数 (人)	児童・生徒一人当たりの教育費 (円)
5	38,886	311	125,035

人口は4月1日現在。児童生徒数は5月1日現在



生涯学習

昨今の社会は、「精神的な豊かさ」への関心が高まり、「心の豊かさ」や「生きがい」が重要視されるようになってきています。

今後は、ボランティア活動などの社会参加や自己実現の要求に応じていくとともに、生活を重視した新しい地域づくりを目指し、学習の成果を地域に生かす生涯学習社会を作り上げていくことが強く期待されています。

また、小・中・義務教育学校区ごとに設置をした地域学校協働本部により、地域住民等と学校が連携した地域学校協働活動を多様かつ継続的に推進していきます。

引き続き、生涯学習地域活動の充実を目指し、地域の教育力により、子どもたちの育成を促進するための施策を実施していきます。

1 人づくり支援事業

地域で活動する市民指導者を対象とした講座・講演会の開催、各種専門研修会への派遣など、より高度な知識・技術を習得していただき、指導者自身のスキルアップを図るとともに、地域へ還元することにより、「まちづくり」の一助とすることを目的とした「人づくり支援事業」を実施しています。

生涯学習まちづくり出前講座は、市職員や豊かな知識、優れた技能を持ち公募によって登録された市民の皆さんが講師となって、地域の集会や団体・グループのもとにお伺いし、講座を開くものです。

2 放課後子ども教室推進事業

子どもたちが、地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、子どもたちの安全・安心な活動拠点としての遊び場を提供する「放課後子ども教室推進事業」を、市内全ての小・義務教育学校区で実施していきます。



放課後子ども教室 活動の様子

3 ひ・まわり探検隊事業

将来を担う子どもたちの郷土愛の醸成と、地域の大人との交流の機会をつくることを目的として、市内小学生（義務教育学校前期課程の児童を含む。）を対象に夏休みに実施しています。

毎年100近くの体験教室においては、企業や生涯学習実践者による、ものづくりや伝統芸能、自然観察、スポーツなどを体験し、芸術文化・スポーツに対する興味・関心を高め、探求する心を育んでいます。



ひ・まわり探検隊 『高麗川で行うガサガサ体験』



ひ・まわり探検隊 『お箏教室』

4 生涯の各時期における社会教育事業の促進

(1) 青少年教育事業

青少年の自主性を伸ばし、協調性・社会性を育て、併せて活動への参加により、ふるさとを愛する心を育てます。

(2) 成人教育事業

受講生参加型の公開講座として、市民による企画運営委員が講座の企画運営を行い、社会の変化に対応する「日高ライブラリーカレッジ」を開催します。

(3) 社会教育関係団体支援・ボランティア団体育成事業

社会教育活動の中核をなす団体が活発に展開されるよう援助を行っていきます。

①社会教育関係団体

名称	構成	構成団体	主な活動
子ども会育成連絡協議会	各地区の子ども会育成会	30	ひだか郷土かるた大会 おらがむらの相撲大会
P T A 連 合 会	各小・中・義務教育学校の P T A	11	研修会・研究大会・レクリエーション
日高ジュニアリーダークラブ	中学生・高校生		地域活動への参加・協力・屋外活動

(4) 二十歳のつどい開催事業

人生の大きな節目となる二十歳を祝福し、改めて社会の一員としての自覚を促すため、対象者から実行スタッフを募り、市民との協働により二十歳のつどいを開催します。また、地域の魅力を再発見するために、友人や恩師と交流する機会を提供します。

5 芸術文化振興事業

地域文化活動の推進、芸術文化の普及と創造的表現力を高め、発表の場を確保することにより、市民文化の振興を図ります。

文芸ひだかの編集及び発行、ミニギャラリーの開設及び貸出、こども俳句展、市民文化祭、市美術展、ファミリーコンサートなどの芸術文化振興事業を開催します。

文化団体連合会の活動を支援し芸術文化活動の支援及び啓発、周知を図ります。

郷土の風土と文化を理解し、郷土愛の醸成を図るため、ひだか郷土かるたを作成します。

6 人権教育推進事業

指導者の養成と啓発活動による市民一人一人の人権意識の高揚を図ります。

○指導者研修・人権学習会・人権啓発講演会の開催

(1) 日高市人権教育基本方針

①学校教育・社会教育を一体とした望ましい教育体制を確立します。

②学校教育において、人権教育を全教育活動の中に明確に位置づけ実践することによって、差別を許さない人権尊重の態度の育成を図ります。

③社会教育において、人権教育を社会教育計画の全分野に位置づけ、人権尊重を基本とした社会的態度の育成を図ります。

④「差別の実態に学ぶ」を中心課題に研修会を実施します。

(2) 人権教育推進についての具体的事項

- ①人権教育指導者養成研修の実施
- ②各小・中・義務教育学校PTA、各公民館との連携による、年間を通しての人権学習会の実施
- ③学級、講座、教室等における人権教育の明確な位置づけと実践
- ④社会教育関係団体との連携による人権教育の実践
- ⑤企業内人権啓発・人権教育の実施
- ⑥啓発活動を通じた相互の人権尊重の推進
- ⑦人権教育授業研究会の開催（学社連携）
- ⑧人権啓発ビデオの選定

(3) 市人権教育推進協議会

日本国憲法、教育基本法では、基本的人権の教育・人権尊重の教育が定められており、市ではこの推進に努めています。学校、社会等における心理的差別の解消については、一定の成果が図られてきましたが、いまだに課題は残っています。こうした人権問題の解決や差別の解消などによる、明るい地域社会づくりに寄与するため、市人権教育推進協議会が設置されています。

- ①組織 学校教育関係者・社会教育関係者・知識経験者の24人
- ②専門委員会 学校教育部会・社会教育部会及び同和教育部会を設置し、専門事項について調査・研究を実施する。

7 青少年育成事業

青少年の健全育成を家庭・地域社会等が協力し、推進しています。

(1) 青少年健全育成関係団体

名称	構成	構成団体	主な事業
青少年育成日高市民会議	青少年関係団体 市内の協力者	15	薬物乱用防止キャンペーン・青少年の主張大会・家族ふれあいポスターコンクール等
青少年相談員協議会	県知事からの委嘱者		主催イベント・子ども会レクリエーション協力
青少年健全育成の会 （6地区）	地区内の関係団体 地区内の協力者		非行防止パトロール・講演会・音楽の集い等
青少年育成推進員会	青少年育成埼玉県民会議 会長からの団体委嘱		青少年関係団体主催事業協力、学校訪問等

(2) 子ども大学ひだか

子どもの学ぶ力や生きる力を育むとともに、地域で子どもたちを育てる仕組みを作ります。

埼玉女子短期大学を会場に、大学教授や地域の方々などが講師となり、子どもの知的好奇心を刺激する講義や体験活動を行います。

公 民 館

高萩公民館

所 在 地 日高市大字高萩802番地3
電 話 番 号 (042) 989-2145
F A X 番 号 (042) 989-9471
職 員 4人
開 館 時 間 午前8時30分～午後10時
(日曜日・祝日及び月曜日は
午前8時30分～午後5時)
休 館 日 12月29日～1月3日



公民館の沿革

本館は、高萩村当時高萩小学校の一隅を事務室として発足し、昭和25年10月に現在の高萩小学校体育館の位置にモダンな公民館を竣工しました。その後施設の老朽化に伴い、創立25周年に当たる昭和48年11月に小学校北側に移転。この間、その活動が認められ昭和27年4月県教育委員会より優良公民館表彰、同年11月文部省から準優良公民館表彰、翌年11月には全国優良公民館として表彰されました。

令和4年10月に出張所を併設し、現在の高萩小学校グラウンドに新築移転しました。

概 要

開館年月	昭和23年4月	建築年月	令和4年10月
構造	鉄骨造1階建	延面積	794.41㎡
敷地面積	2,987.93㎡	独立・併設別	併設(出張所)
人口(令和5年4月1日現在)	男 5,632人	世帯数	4,983世帯
	女 5,562人	1世帯当たり平均人員	2.25人
	計 11,194人	分館数	20分館

事業の概要

(1) 青少年教育事業

多種多様な体験学習を通して、子どもの未知数の可能性を引き出し、学習意欲の向上に努めながら、体験の中から心身の発達促進や、仲間づくりと地域づくりを推進していく気持ちを養成します。

○グリーンアドベンチャー・盆踊り教室・高萩ミニサッカー大会・子どもフェスティバル等

(2) 成人教育事業

一般成人を対象に、教養の向上・健康の増進を図り、地域づくりの推進を行います。

○犬の飼い方と里親制度講習会・環境講座・ますじいの理科教室・フラワーアレンジメント教室
・憩いの森コンサート・オルフェコンサート等

(3) 家庭教育事業

幼児・小中学生とその保護者を対象に健やかな子どもを育てる知識を得るための学級を開催します。

○親子ふれあい広場・ゆとり学級・人権学習講演会・子育て講座

(4) 高齢者教育事業

明るい家庭と生きがいのある生活の中で、人生の余暇時間に仲間づくりと次の世代の良きアドバイザー的存在となるための学習を行います。

○新春高萩寄席・スマホ・サポートコーナー・ライフプラン教室

(5) 健康維持事業

「健幸のまち」宣言により、健康に関する講座を開催し、地域住民の健康増進を図ります。また、土曜日を中心に健幸サタデーを実施していきます。

○定例健幸ウォーキング・グラウンドゴルフ大会・のんびり萩っぽ・健康づくり講演会・健康講座・健康体操

(6) 文化祭・体育祭

公民館利用者及び地域住民の相互のふれあいを通じて健康の増進、文化の振興を図ります。

(7) 高萩地区地域学校協働本部

放課後子ども教室をはじめとする、地域学校協働活動を推進します。

(8) その他

公民館だよりの発行等

高麗川公民館

所在地 日高市大字南平沢1098番地2
電話番号 (042) 989-9110
FAX番号 (042) 989-9429
職員 2人
開館時間 午前8時30分～午後10時
(日曜日、祝日、及び月曜日は、
午前8時30分～午後5時)
休館日 12月29日～1月3日



公民館の沿革

昭和30年に高麗村と高麗川村が合併し、日高町が誕生した年の10月に日高町公民館として誕生しました(現在の高麗川中学校敷地内)。昭和35年4月に名称を高麗川公民館に改めた後、昭和46年に現在地の東側に移転しました。その後、利用者の急増に伴い昭和51年7月に現在の施設を開館しました。

概要

開館年月	昭和30年10月	建築年月	昭和51年7月
構造	鉄筋コンクリート2階建	延面積	732㎡
敷地面積	4,826.92㎡	独立・併設別	独立
人口(令和5年4月1日現在)	男 8,119人	世帯数	7,299世帯
	女 8,212人	1世帯当たり平均人員	2.24人
	計 16,331人	分館数	24分館

事業の概要

- (1) 青少年教育事業
スポーツや体験学習を通して、青少年の健全育成を図ります。
○親子天体観測・作文教室等
- (2) 成人教育事業
地域住民の学習ニーズや地域課題を的確に捉え、それに応じた講座等を展開することにより、住民の教養・文化意識の向上と地域づくりへの行動意識を高めます。
○世界史講座・JAZZ講座・各種教養講座等
- (3) 家庭教育事業
子育てのための家庭教育学習の充実を図ります。
○親子リフレッシュ講座
- (4) 高齢者教育事業
日常生活に即した事業を展開し、生きがいのある生活の推進を図ります。
○白銀(シルバー)学級 (高麗川南公民館と共催)
- (5) 健康維持事業
「健幸のまち」宣言により、健康に関する講座等の充実及び情報提供を行い、地域住民の健康増進を図ります。また、土曜日を中心に健幸サタデーを実施していきます。
○定例健幸ウォーキング・陸上教室・各種健康講座等
- (6) 文化祭
地域住民や公民館利用団体の文化活動の発表の場として文化祭を開催します。
- (7) 体育祭
スポーツ・レクリエーションを通じて明るい地域づくりと健康増進を図ります。
- (8) 高麗川地区地域学校協働本部
放課後子ども教室をはじめとする、地域学校協働活動を推進します。
- (9) その他
公民館だよりの発行・ホームページの公開・高麗川地区子ども会育成会連絡協議会の事務等

高麗公民館

所在地 日高市大字栗坪92番地2
 電話番号 (042) 989-2381
 F A X 番号 (042) 989-7967
 職員 3人
 開館時間 午前8時30分～午後10時
 (日曜日、祝日、及び月曜日は、
 午前8時30分～午後5時)
 休館日 12月29日～1月3日



公民館の沿革

昭和35年から公民館活動が始まり、昭和37年に公民館（現在の高麗郷民俗資料館）が建築されました。その後、立地条件・建物の老朽化に伴い、昭和50年4月に併合施設として現在地に新築し、利用者の増加等により、昭和59年4月に大集会室を増築しました。

概要

開館年月	昭和35年4月	建築年月	昭和50年4月
構造	鉄筋コンクリート2階建	延面積	856㎡
敷地面積	1,714㎡(併設含む。)	独立・併設別	併設(出張所)
人口（令和5年4月1日現在）	男 2,853人	世帯数	2,493世帯
	女 2,947人	1世帯当たり平均人員	2.33人
	計 5,800人	分館数	13分館

事業の概要

- (1) 青少年教育事業
各種体験・自然学習を通して、青少年の心身の育成を図るとともに郷土愛の育成に寄与します。
○子ども公民館・科学実験教室・ひ・まわり探検隊協力・書初め教室等
- (2) 成人教育事業
趣味や実生活に即した知識・技能を習得する場を積極的に提供します。
○美文字教室・生け花教室・防災講座・苔玉づくり・鉄道旅講座等
- (3) 家庭教育事業
親子の絆を深め、家庭教育の果たす役割の大切さについて学びます。
○親子ハッピーたいむ
- (4) 高齢者教育事業
高齢者の充実した日常生活と、学習成果を地域のコミュニティ活動に役立てます。
○高麗寿学級・スマホ教室・終活セミナー等
- (5) 健康維持事業
「健幸のまち」宣言により、健康に関する講座を開催し、地域住民の健康維持・増進を図ります。
また、土曜日を中心に健幸サタデーを実施していきます。
○定例健幸ウォーキング・月例高麗郷ブラ散歩・新春ジャズピアノライブ・ヨガ体験教室・ボッチャ体験等
- (6) 文化祭
地域住民や公民館利用団体の文化活動の発表の場として文化祭を開催します。
- (7) 体育祭
スポーツ・レクリエーションを通じて地域のコミュニケーションと健康増進を図ります。
- (8) 高麗地区地域学校協働本部
放課後子ども教室をはじめとする、地域学校協働活動を推進します。
- (9) その他
高麗小学校協力（いも煮会）・公民館だよりの発行等

高麗川南公民館

所在地 日高市大字中鹿山81番地1
 電話番号 (042) 989-1000
 F A X 番号 (042) 989-9768
 職員 3人
 開館時間 午前8時30分～午後10時
 (日曜日、祝日及び月曜日は
 午前8時30分～午後5時)
 休館日 12月29日～1月3日



公民館の沿革

昭和55年4月に地域住民の教育文化の向上、コミュニティづくりの場として開館しました。教養、趣味、文化活動等、各種の講座、会議、クラブ、サークル活動の場として、また、地域住民の憩いの場、交流の場として広く親しまれ、多くの方々に利用されています。

概 要

開館年月	昭和55年4月	建築年月	昭和55年4月
構造	鉄筋コンクリート2階建	延面積	790.68m ²
敷地面積	2,466m ²	独立・併設別	併設(出張所)
人口(令和5年4月1日現在)	男 2,762人	世帯数	2,985世帯
	女 2,729人	1世帯当たり平均人員	1.84人
	計 5,491人	分館数	9分館

事業の概要

(1) 青少年教育事業

各種の活動を通じ、青少年の心身の健全育成を図ります。また、学校では学べない学習を通して広い視野を持てる人間形成を目指します。

○ハーバリウム&グリーティングカードを作ろう・フラワーアレンジメント教室・読み聞かせ教室
 ・将棋教室・子ども夏休み体験教室・凧作り教室・書き初め教室・ディ・キャンプ等

(2) 成人教育事業

成人を対象に生涯学習への契機、仲間づくり及び地域づくりの推進を図ります。

○つまみ細工でアクセサリを作ろう～初級編～/～中級編～・スマホ活用術～初級編～Ⅱ・救急法短期講習会・ゼロカーボンシティ～私たちにできること～・消しゴムはんこ体験教室等

(3) 家庭教育事業

幼児や小学生とその保護者を対象に、家庭教育に関する学習機会を提供します。

○おもちゃドクター養成講座・親子スマイル教室・幼児安全法短期講習会等

(4) 高齢者教育事業

日常生活に即した事業を展開し、生きがいのある生活の推進を図ります。

○白銀(シルバー)学級(高麗川公民館と共催)・市民活動講座等

(5) 健康維持事業

「健幸のまち」宣言により、健康維持に関心を促す講座や館内に情報提供のコーナーを設け、健康づくりに役立てます。また、土曜日には健幸サタデーを実施していきます。

○定例健幸ウォーキング・おなか元気教室・健幸教室Ⅱ・アクティブシニア講座・健幸食事術・ポールdeリラクゼーションストレッチ・まーちゃんと仲間たちぼかぼか音楽会3等

(6) 文化祭・体育祭

住民の文化的趣味、技術の発表の場として文化祭を開催し、健康増進及び地域意識を高めるために体育祭を開催します。

(7) 高麗川南地区地域学校協働本部

放課後子ども教室をはじめとする、地域学校協働活動を推進します。

(8) その他 公民館だよりの発行等

高萩北公民館

所在地 日高市大字旭ヶ丘997番地 1
 電話番号 (042) 989-7322
 F A X 番号 (042) 989-9948
 職 員 2 人
 開館時間 午前8時30分～午後10時
 (日曜日、祝日月曜日は午前8時30分～
 午後5時)
 休 館 日 12月29日～1月3日



公民館の沿革

高萩北公民館は市内5番目の公民館として、初めてゲートボール場、テニスコート（各1面）を備え、昭和57年4月に開館しました。開館以来、地域に根ざした公民館としてその役割を果たしています。

概 要

開館年月	昭和57年4月	建築年月	昭和56年11月
構造	鉄筋コンクリート2階建	延面積	812.32㎡
敷地面積	5,526.2㎡	独立・併設別	独立
人口（令和5年4月1日現在）	男 4,855人	世帯数	4,156世帯
	女 4,813人	1世帯当たり平均人員	2.33人
	計 9,668人	分館数	14分館

事業の概要

(1) 青少年教育事業

青少年に対し、社会性の醸成や自主性、創造性の発達を助けます。

○書き初め教室・オリジナルのマルちゃん焼きそばを作ろう・中学校卒業講話等

(2) 成人教育事業

成人を対象として一般教養や趣味・地域づくり等について学習する機会を提供します。

○小さな音楽会・夢いっぱい映画会・お正月を彩る寄せ植え教室・各種体験教室等

(3) 家庭教育事業

幼児、小・中学生を持つ親のために、家庭教育に関する学習機会を提供します。

○親子で絵本を楽しもう・親子料理教室・北小北中子育て講座等

(4) 高齢者教育事業

高齢者の趣味や教養に関する学習と、レクリエーションを通して仲間づくりを図ります。

○寿大学・かんたんスマホ教室等

(5) 健康維持事業

「健幸のまち」宣言により、健康に関する講座を開催し、地域住民の健康維持・増進を図ります。
 また、土曜日を中心に健幸サタデーを実施していきます。

○定例健幸ウォーキング・のんびり萩っぱ・やってみようボッチャ・骨の健幸チェック・手作り味噌教室・歌声喫茶公民館等

(6) 文化祭

地域住民や公民館利用団体の文化活動の発表の場として文化祭を開催します。

(7) 体育祭

スポーツ・レクリエーションを通じて明るい地域づくりと健康増進を図ります。

(8) 高萩北地区地域学校協働本部

高萩北地区青少年健全育成の会の活動を基に、地域学校協働本部の諸活動を「輝多っ子サポーターズ」と進めます。

(9) その他

ミニギャラリー設置・公民館だよりの発行等

武蔵台公民館

所在地 日高市武蔵台五丁目1番2号
 電話番号 (042) 982-2950
 F A X 番号 (042) 982-0244
 職員 3人
 開館時間 午前8時30分～午後10時
 (日曜日、祝日及び月曜日は
 午前8時30分～午後5時)
 休館日 12月29日～1月3日



公民館の沿革

昭和58年に市内6番目の公民館として開館し、平成5年には多目的ホール（電動式収納椅子200席）を増築しました。テニスコート2面を有し、地域住民のコミュニティづくりの場として利用されています。

概要

開館年月	昭和58年11月	建築年月	昭和58年9月
構造	鉄筋コンクリート2階建	延面積	1,276.14㎡
敷地面積	8,435.15㎡	独立・併設別	併設（出張所）
人口（令和5年4月1日現在）	男 3,362人	世帯数	3,307世帯
	女 3,692人	1世帯当たり平均人員	2.13人
	計 7,054人		

事業の概要

- (1) 青少年教育事業
 親子の心のふれあいとともに、子どもの居場所づくりを踏まえた子どもたちの活動の場、仲間づくりの育成を図り、地域づくりに役立てます。
 ○ジュニアサマースクール・書初め教室・コーディネーショントレーニング等
- (2) 成人教育事業
 地域住民の文化教養の向上を図ります。
 ○ふるさと発見塾・教養講座・人権学習会等
- (3) 家庭教育事業
 親の心と体のリラックスが健やかな子どもの育成につながると考え、事業の推進を図ります。
 ○幼児家庭教育学級「子育てリラックスたいむ」等
- (4) 高齢者教育事業
 健康で生きがいのある楽しい毎日を送るために、学習とレクリエーション活動を行い、高齢者に活動と交流の場を提供します。
 ○高齢者学級「ゆうゆうカレッジ」等
- (5) 健康維持事業
 「健幸のまち」宣言により、健康に関する講座を開催し、地域住民の健康維持・増進を図ります。
 また、土曜日を中心に健幸サタデーを実施していきます。
 ○定例健幸ウォーキング・体操教室・陸上教室・指圧 マッサージ お灸講座等
- (6) 文化祭・体育祭
 地域住民や公民館利用団体の文化活動の発表の場とともに、地域交流の場として文化祭を開催します。また、スポーツ・レクリエーションを通じて、健康増進及び地域の連帯意識を高めるために体育祭を開催します。
- (7) 武蔵台地区地域学校協働本部
 放課後子ども教室をはじめとする、地域学校協働活動を推進します。
- (8) その他
 公民館だよりの発行・ミニギャラリー等

公民館の利用実績（年度別）

区分	年度	総回数	総人数	公民館回数	公民館人数	社会教育団体回数	社会教育団体人数	その他回数	その他人数
高萩	24	1,928	28,858	54	3,439	1,778	18,616	96	6,803
	25	1,964	26,346	39	3,473	1,852	20,354	73	2,519
	26	1,987	27,801	43	3,472	1,773	21,231	171	3,098
	27	1,954	24,029	46	1,984	1,817	19,251	91	2,794
	28	1,911	27,839	47	3,501	1,762	18,647	102	5,691
	29	1,912	28,211	59	7,308	1,763	18,107	90	2,796
	30	1,871	25,186	60	4,174	1,696	17,700	115	3,312
	元	1,628	26,282	68	8,485	1,443	14,711	117	3,086
	2	959	8,060	116	544	746	6,084	97	1,432
	3	1,295	11,776	91	737	1,086	7,874	118	3,165
	4	1,538	17,660	78	1,659	1,228	11,588	232	4,413
区分	年度	総回数	総人数	公民館回数	公民館人数	社会教育団体回数	社会教育団体人数	その他回数	その他人数
高麗川	25	1,478	16,906	59	1,244	1,375	14,745	44	917
	26	2,087	23,692	96	2,198	1,884	19,768	107	1,726
	27	2,086	24,948	91	2,254	1,851	20,119	144	2,575
	28	2,203	26,010	79	1,683	2,005	22,063	119	2,264
	29	2,107	26,050	83	1,903	1,889	21,796	135	2,351
	30	2,340	28,860	267	6,437	1,949	20,445	124	1,978
	元	1,967	26,308	148	5,412	1,711	18,813	108	2,083
	2	1,058	9,249	46	502	954	8,223	58	524
	3	1,685	13,717	93	1,222	1,434	10,908	158	1,587
	4	1,798	14,847	152	1,575	1,469	11,250	177	2,022
区分	年度	総回数	総人数	公民館回数	公民館人数	社会教育団体回数	社会教育団体人数	その他回数	その他人数
高麗	24	1,591	17,892	48	568	1,389	14,490	154	2,834
	25	1,116	12,470	28	539	981	9,732	107	2,199
	26	1,538	18,034	64	1,566	1,318	13,486	156	2,982
	27	1,654	20,965	101	3,166	1,373	14,556	180	3,243
	28	1,888	22,419	109	3,094	1,514	14,714	265	4,611
	29	1,647	20,864	87	2,516	1,365	13,615	195	4,733
	30	1,655	19,314	78	2,150	1,384	13,706	193	3,458
	元	1,554	20,392	61	1,784	1,243	11,999	250	6,609
	2	897	8,770	59	1,161	709	5,867	129	1,742
	3	1,268	12,517	73	1,846	941	7,281	254	3,390
	4	1,550	15,282	104	2,600	988	7,853	458	4,829
区分	年度	総回数	総人数	公民館回数	公民館人数	社会教育団体回数	社会教育団体人数	その他回数	その他人数
高麗川南	25	2,040	22,691	64	1,670	1,901	20,198	75	823
	26	1,586	19,849	58	1,333	1,442	16,083	86	2,433
	27	1,893	25,819	65	1,838	1,521	17,355	307	6,626
	28	1,081	12,546	29	827	919	10,333	133	1,386
	29	1,898	21,580	43	876	1,630	18,311	225	2,393
	30	1,956	21,639	49	1,126	1,637	18,151	270	2,362
	元	1,849	21,512	96	1,907	1,453	16,995	300	2,610
	2	1,073	9,661	51	892	912	8,082	110	687
	3	1,424	12,603	117	1,405	1,166	9,970	141	1,228
	4	1,528	13,953	63	739	1,196	10,331	269	2,883
区分	年度	総回数	総人数	公民館回数	公民館人数	社会教育団体回数	社会教育団体人数	その他回数	その他人数
高萩北	25	2,971	36,445	87	2,193	2,710	30,901	174	3,351
	26	2,061	25,550	78	1,951	1,780	19,799	203	3,800
	27	2,799	31,729	89	1,800	2,491	25,939	219	3,990
	28	2,849	33,872	142	3,655	2,513	26,693	190	3,524
	29	2,959	37,199	188	4,105	2,552	27,318	219	5,776
	30	3,174	36,460	154	4,389	2,458	26,544	562	5,527
	元	2,660	32,790	95	3,326	2,152	20,358	413	9,106
	2	1,461	13,331	61	979	1,256	10,365	144	1,987
	3	1,932	17,971	99	1,115	1,609	13,005	224	3,851
	4	1,870	17,557	88	1,821	1,507	12,961	275	2,775
区分	年度	総回数	総人数	公民館回数	公民館人数	社会教育団体回数	社会教育団体人数	その他回数	その他人数
武蔵台	25	2,595	35,150	111	2,392	2,366	27,618	118	5,140
	26	2,610	38,801	93	2,381	2,382	30,382	135	6,038
	27	2,688	40,339	120	3,799	2,417	30,174	151	6,366
	28	2,668	38,541	155	3,504	2,361	29,225	152	5,812
	29	2,681	38,061	159	3,320	2,377	29,150	145	5,591
	30	2,699	35,074	202	3,601	2,391	28,374	106	3,099
	元	2,514	39,322	149	3,036	2,086	24,441	279	11,845
	2	1,447	15,710	100	1,924	1,256	11,813	91	1,973
	3	2,106	26,313	115	2,349	1,817	16,364	174	7,600
	4	2,285	29,823	126	2,679	1,936	18,333	223	8,811

文化財保護

1 基本方針

文化財保護については、埋蔵文化財の発掘調査・資料整理、そして市内に所在するさまざまな歴史的遺産である文化財の保護・保存に努めます。

高麗郷民俗資料館を文化財における生涯学習の拠点と位置づけ、文化財保護思想の啓発、普及などに努めます。民俗資料の常設展示、年1～2回の企画展示を行います。

2 令和5年度事業概要

(1) 指定文化財の維持管理

市内に所在する指定文化財の管理委託契約を締結し保護に努めます。また修復や保存等の事業に対し補助金を交付します。

○指定文化財防災設備保守点検

国指定重要文化財である高麗家住宅、市指定文化財である聖天院山門、聖天院阿弥陀堂、霞野神社、駒形神社、三島神社の防災設備保守点検に補助金を交付します。

(2) 文化財保護

○文化財保護審議委員会

市内に所在するさまざまな文化財調査を行い、歴史的遺産の保護及び保存に努めます。また、指定文化財に関する答申を行います。

○文化財説明板

市指定史跡である野々宮神社（野々宮地区）の説明板を修繕します。

○市民歴史講座

日高市の歴史に関する講演会を実施します。昨年度は計3回講演会を実施しました。

○日高の歴史名勝ナビ

日高市内の文化財を歴史名勝に選定し、ホームページに解説や散策コースを案内する「日高の歴史名勝ナビ」を作成します。

(3) 埋蔵文化財

埋蔵文化財包蔵地内の各種開発に伴い発掘調査を行います。地域の歴史を解明する貴重な資料を保存し、出土遺物の整理作業、遺物等の保存、管理を図ります。

○発掘調査予定遺跡

北鹿山遺跡（上鹿山地区）など市内に所在する遺跡の調査を実施します。

○埋蔵文化財資料整理作業

五反田遺跡（大谷沢地区）、宮久保遺跡（下大谷沢地区）、王神遺跡、拾石遺跡、旭ヶ丘遺跡（高萩、旭ヶ丘地区 武蔵高萩駅北土地区画整理事業及び旭ヶ丘松の台土地区画整理事業）の資料整理を行います。

○埋蔵文化財調査報告書の刊行

五反田遺跡、宮久保遺跡の埋蔵文化財調査報告書を刊行し、公開します。



令和4年度実施 茗荷沢遺跡発掘調査風景

高麗郷民俗資料館

所在地 日高市大字梅原 2 番地
電話番号 (042) 985-7383
開館時間 午前 9 時から午後 5 時まで
(最終入館は午後 4 時 30 分)
休館日 月曜日 (祝日と重なる場合は開館し、火曜日が休館)
国民の祝日の翌日
年末年始 (令和 5 年度は 12 月 25 日から令和 6 年 1 月 5 日まで)
入館料 無料



1 事業概要

- (1) 民俗資料の展示を行っています。
- (2) 特別展示室を使って企画展示を実施し、より多くの市民の皆さんに文化財について興味を持っていただけるよう努め、文化財保護思想の普及を図ります。
- (3) 常設展示以外の収蔵品の一部をミニ展示として紹介しています。

2 常設展示

- (1) 1 階展示室
「土、そして汗」をテーマとして稲作、畑作、養蚕、茶等を取り上げ、それらに関する民具の展示と一昔前の民家の暮らしを再現しています。
- (2) 2 階展示室
「山河の恵」をテーマとして林業、高麗川の漁法、水車等の資料を展示しています。

3 企画展示

年に 1 ～ 2 回、テーマを絞った企画展を開催しています。
令和 4 年度から今年度にかけて、「いろいろな土器の模様展」を開催しました。発掘調査で出土した土器の表面には、土器を製作した際の道具の痕跡や指の痕などが「模様」として残る場合があります。日高市内の遺跡から出土した土器の「模様」に焦点を当てた展示をし、普段目にする機会の少ない収蔵資料を公開しました。



「いろいろな土器の模様展」 展示風景



縄文土器 (上野ヶ谷戸遺跡)

図書館

市立図書館は、生涯学習の場として、市民の方々の自主的な学習要求に応えるため、図書その他の資料の充実に努めるとともに、「本との出会い、人との出会い」を目標として、生活・文化を豊かにするための中心施設として活動し充実したサービスを展開します。



施設概要

所在地	電話番号 FAX番号	敷地面積	建物の概要		
			構造	延床面積	建築年度
日高市大字鹿山 370番地20	(042) 985-5121 (042) 984-1081	9,351.48㎡	鉄筋コンクリート 2階建	3,923.89㎡ (2,684㎡)	平成元年

※（ ）内は図書館分

年齢別利用者登録数

(令和5年3月31日現在)

年齢	0-6	7-12	13-15	16-18	19-22	23-30	31-40	41-50	51-60	61-	合計
登録者数	335	2,438	1,604	1,695	2,196	4,569	9,374	12,088	6,557	15,317	56,173

※団体登録者を除く。

貸出冊数及び貸出者数

年度	貸出総数	貸出総数の内訳					貸出者数
		一般書	児童書	雑誌	図書合計	AV資料	
30	297,105	162,083	91,914	21,372	275,369	21,736	69,185
元	273,166	151,822	83,352	18,957	254,131	19,035	63,454
2	217,697	128,005	60,477	16,457	204,939	12,756	50,530
3	292,553	171,514	85,384	18,776	275,674	16,879	69,866
4	286,741	169,320	82,909	18,815	271,044	15,697	70,463

1 開館時間

午前9時～午後7時

2 休館日

月末整理日（毎月最終月曜日）、年末年始、特別整理期間、施設管理休館

3 貸出

本・CD・DVD・雑誌・新聞等があり、個人及び団体に貸出をしています。本・雑誌は、公民館、武蔵高萩駅自由通路ブックポストにも返却できます。平成29年度から、図書館から離れている地域の方のために、移動図書館の運行を開始しました。

※埼玉西部地域まちづくり協議会の5市（日高市・所沢市・飯能市・狭山市・入間）で広域相互利用を実施。また、川越市・坂戸市・鶴ヶ島市・川島町・毛呂山町・越生町とも広域相互利用を実施しています。

4 リクエスト（予約）

ご希望の資料がないときに、確実に提供するためのサービスです。貸出中のものは返却されるのを待って、未所蔵のものは購入又は他の図書館から借用して可能な限りお応えします。電話、インターネットからでも予約ができます。用意ができたときのお知らせを、電話又は電子メールで受け取ることができます。

5 レファレンスサービス

何かを調べたり、情報を知りたいとき、図書館の職員がお手伝いします。

※利用者用インターネット閲覧専用端末2台を開架室内に置いて利用に供しています。

6 対面朗読・録音図書郵送サービス

視覚障がい者のために、対面朗読サービス及び録音図書の郵送貸出をしています。

7 集会行事等

読書の楽しさを知り、図書館を利用していただくため、多彩な催し等を行っています。

(1) 一般対象事業

一般向け文化講座、児童文化講座、企画展関連講座、クリスマスコンサート、年末謝恩企画「福引き大会」、図書館まつり、映画会等

(2) 児童（親子）対象事業

おはなしポケット、こわいおはなし会、かがくあそび、工作教室、図書館あそびのひろば、きつずシネマ等

(3) ヤングアダルトサービス事業

ビブリオバトル、ホリデーヤングシネマ等

(4) 団体サービス事業

学校訪問おはなし会、学校訪問ブックトーク

(5) ボランティア育成事業

おはなしポケットボランティア、布の絵本ボランティア（ポコ・ア・ポコ）、消しゴムはんこボランティア（ぺったんこ工房）、読み聞かせボランティア（絵本の会）等

(6) その他の活動

図書館ビブリオトーク会

(7) 協力事業

- ・「わらべうたで一緒にあそぼう」（子育て総合支援センター「ぬくぬく」協力）
- ・世界自閉症啓発デーに合わせ、自閉症を始めとした「発達障がい」についての本を展示（「快サークルコロネット」共催）

(8) 企画展示

一般展示、児童展示、ヤングアダルト展示、企画展展示

8 その他（令和4年度）

- ・セカンドブック事業（市内小学校1年生対象）の実施
- ・「日高市子ども読書活動推進計画（第3次）」の策定
- ・健幸ポイント事業（テーマ展示：「健幸」第一！～見つめ直そう自分のカラダ）の実施

スポーツ・レクリエーション

健康体力づくりが注目されている中で、スポーツ・レクリエーションの果たす役割は、ますます重要になってきています。市民一人一人が、世代や地域を問わず気軽にスポーツ・レクリエーションに取り組み、コミュニティの輪を広げることにより「いきいきとした人づくりと豊かなまちづくり」の実現を目指し、スポーツ教室及びスポーツ大会の開催、社会体育団体及び指導者の育成、体育施設の整備などに取り組んでいます。

社会体育事業

1 スポーツ推進委員と社会体育指導者の養成

市民の多様化したスポーツの要求に、適切なアドバイスのできる指導者を養成します。

○スポーツ指導者講習会

2 スポーツ大会・スポーツ教室の開催

スポーツを通して、体を動かすことのすばらしさを理解していただき、スポーツ人口の拡大を図ります。令和4年度は3年ぶりとなる、日高かわせみの里ツーデーウォークを開催し、市内外から4,022名のウォーカーに参加いただきました。

令和5年度については、第10回の記念大会となる日高かわせみの里ツーデーウォークやペタンク大会など市民が気軽に参加できるスポーツイベントを各種開催していきます。

○文化体育館「ひだかアリーナ」では、指定管理者「コナミスポーツ」によりスポーツ教室が実施されています。

令和4年度は、こどもバドミントン教室、ピラティス教室、キッズHIP・HOPダンス教室、こどもバスケットボール教室、ヨガ教室、ボディバランスなどが実施されました。

3 スポーツ・レクリエーション団体の指導・育成

スポーツ・レクリエーション団体の自発的活動を促進し、組織の強化を図るとともに、地域スポーツに貢献できる組織づくりを進めます。

○日高市スポーツ協会・日高市スポーツ少年団

4 スポーツ・レクリエーション施設の整備・利用促進

良好な条件のもとでスポーツができるよう、スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実を図ります。

文化体育館「ひだかアリーナ」では指定管理者制度を導入し、民間企業の培ったノウハウを施設の利用促進につなげています。

市民プールについては、令和3年度から4年度にかけ、市の長寿命化計画及び公共施設再編計画に基づく集約化工事を行い、リニューアルオープンいたしました。



北平沢運動場と横手台グラウンドは、市民の健康づくりをサポートし、いつでも気軽に運動ができる場所として利用いただいています。

5 学校体育施設開放の推進

市民に幅広く学校体育施設を開放し、体力向上と親睦を図ります。学校体育施設等開放事業では指定管理者制度を導入し、民間企業の培ったノウハウを施設の利用促進につなげています。

○市内小学校 5 校・中学校 5 校、義務教育学校 1 校の体育施設開放

スポーツ・レクリエーション施設の利用案内

名称	利用期間等	利用者	料金
市民プール	7 月～8 月 (夏休み期間中毎日) 午前10時～午後 5 時	市内在住・ 在勤者	一般 1 日300円 小・中・義務教育 学校の児童生徒 1 日100円 未就学児無料
夜間照明施設	4 月～11月 (祝日及び日・月曜日を除く毎日) 午後 7 時30分～午後 9 時30分	市内在住・ 在勤者で組 織する10人	半面1,500円
学校開放体育 館	年末年始、祝日及び日・月曜日を除く 毎日 午後 7 時30分～午後 9 時30分	以上の団体 で、教育委 員会に登録 のあるもの	小学校全面300円 中学校半面300円 義務教育学校全面 300円
北平沢運動場	通年 午前 9 時～午後 5 時		無料
文化体育館「 ひだかアリー ナ」	年末年始及び第 1・第 3 月曜日を除く 毎日 午前 9 時～午後 9 時	制限なし	条例で定める額
横手台グラウ ンド	年末年始を除く毎日 午前 9 時～午後 5 時	制限なし	条例で定める額
横手台テニス コート※	年末年始を除く毎日 午前 9 時～午後 5 時	制限なし	1 面 300 円 / 2 時 間

※令和 4 年度より生涯学習課所管

スポーツ・レクリエーション施設の利用実績

単位：人

名称	利用区分	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
市民プール	乳幼児	0	215	362
	小中学生	0	1,205	2,708
	大人	0	676	2,166
	合計	0	2,096	5,236
夜間照明施設		260	170	408
学校開放体育館		24,738	30,220	40,563
北平沢運動場		8,761	13,524	12,089
文化体育館「ひだかアリーナ」	メインアリーナ	33,611	42,139	35,938
	サブアリーナ	11,633	12,805	14,338
	弓道場	5,974	7,402	10,075
	会議室	5,650	7,056	8,748
	多目的室	7,155	8,300	7,037
	トレーニングジム	14,462	17,267	18,762
	その他	2,687	2,678	1,971
	合計	81,172	97,647	96,869
横手台グラウンド(専用利用)		6,534	9,440	10,191
横手台テニスコート※		—	—	7,258

※令和 4 年度より生涯学習課所管



文化体育館「ひだかアリーナ」



高麗小学校



学校の沿革・特色

本校は歴史が古く、明治20年、新堀発育尋常小学校・台分教場・横手分教場を統合して、梅原の地に開校し、136年目になります。

巾着田を囲む高麗川、四季の変化に富む日和田山、古い文化を受け継ぐ高麗神社など、本校の教育環境は豊かな自然と文化に満ちています。本校では、これらを積極的に教育活動に導入し、地域に根ざした特色ある学校を創るため、自然や文化を学び、体験し、探求する教育活動の充実を推進しております。

日頃より、保護者や地域の方々には、学校応援団として、学習支援や農業体験活動を通して、学校を支えていただいております。令和7年度の高麗小中学校開校に向け、中学校と連携・協働しながら確実に準備を進めます。

学校教育目標と今年度の重点

1 学校教育目標

- 「やる気」(知)～夢いっぱい～
進んで学び、自分の考えを深める子
- 「勇気」(徳)～笑顔いっぱい～
進んで関わり、誰とでも仲よくする子
- 「元気」(体)～元気いっぱい～
進んで遊び、心も体もじょうぶな子

2 目指す学校像

～夢いっぱい、笑顔いっぱい、元気いっぱいで
地域に誇れる学校～

3 今年度の重点

- (1) やる気…夢いっぱいの学校
 - ・学習意欲の向上、基礎学力の定着を図る
 - ・学習規律の確立、学習習慣を育成する
 - ・課題を克服し、達成感を味わわせる
 - ・ねばり強く取り組む姿勢を育成する
- (2) 勇気…笑顔いっぱいの学校
 - ・規律ある態度、基本的な生活習慣を育成する

所在地	〒350-1246 日高市大字梅原5番地1
電話番号	042-989-1014
開校記念日	12月2日
教職員数	14人
児童数	191人
学級数	8学級
校長	志村 憲一
教頭	板橋 英生

- ・思いやりの心、社会性を育成する
- ・優しい言葉遣いの習慣化を図る

(3) 元気…元気いっぱいの学校

- ・最後までやりぬく気力を育成する
- ・基礎体力の向上を図る
- ・健やかな心と体を育成する

(4) 地域…地域に誇れる学校

- ・おらがコミュニティ・スクールの推進
- ・地域学校協働本部との連携・協働
- ・地域力を生かした教育課程の展開
- ・保・幼・小・中との連携・協働

特色ある学校づくりの推進

- 1 子供たちの確かな学力の育成
学習習慣、家庭学習の定着を図り、その学年で身に付けるべき知識、技能の定着に努めます。
- 2 人とのかかわりを通した豊かな心の育成
道徳の時間を要として、縦割り班活動、異校種との交流、地域の高齢者との交流、障がいのある人たちとのかかわりなどを通して豊かな心を育てます。
- 3 健康で安全な学校生活の推進
学校ファームと関連づけた食育の推進、地域と連携した健康教育及び見守り活動の充実を図ります。
- 4 高麗の特色を生かした教育活動の推進
高麗川、巾着田など高麗の豊かな自然や文化を生かした教育活動を、生活科・理科・総合的な学習の時間・特別活動など教科横断的な指導で実現します。

今年度の研究課題

各教科等で「授業のUD」、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の研究を授業研究を通して推進します。



高麗川小学校



学校の沿革・特色

本校は、広い学区を有し、地域の見守り活動により登下校での子供たちの安全・安心が保たれています。799人の児童が在籍する市内で最も大きい学校です。今年度は開校107年目となり、歴史と伝統のある学校であり、不易と流行を融合させた教育を推進していきます。

本校の特色ある取組として、子供のより良い学習・生活習慣作りを目指し、家庭と連携した「高麗川っ子5つのがんばり」を実践しています。令和2年度からは、「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」に取り組んでいます。また、平成22年4月、県内3番目の院内学級を埼玉医大国際医療センター内に開設しました。

学校教育目標と今年度の重点

- よく考える子【学力】
- 思いやりのある子【徳力】
- ねばり強い子【体力】

1 学校経営方針

『夢いっぱい 笑顔いっぱい 希望あふれる

高麗川っ子の育成』

～子供たちが通いたい学校 保護者が通わせたい学校
教職員が勤めたい学校 地域の方が誇りに思う学校～

(1) 主役は子供

- ・夢を持ち、進んで学ぶ子
- ・心豊かな笑顔の子 ・希望あふれる子

(2) 主体は教師

- ・教職員の温かさ ・指導力の向上
- ・主任を核とした学年経営の充実
- ・危機管理に秀でた組織作り
- ・教職員への信頼確保 ・安心、安全な環境

(3) 支えは保護者・地域

- ・家庭との連携 ・PTA、地域の協力体制

所在地 〒350-1206

日高市大字南平沢335番地

電話番号 042-989-0275

開校記念日 2月27日

教職員数 46人

児童数 799人

学級数 27学級・通級指導教室

校長 半田 貞晴

教頭 林 聖子

2 今年度の重点

(1) 学力向上へ向けて

○学力向上の推進

- ・主体的・対話的で深い学びを軸とした魅力ある授業の展開

○研究授業の充実と指導力の向上

- ・ICTの活用

○積極的な生徒指導と教育相談の充実

- ・児童に寄り添い、児童理解を深める学級経営

(2) コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進

○小中の連携強化

- ・高麗川小中合同での課題研究
- ・小中一貫教育への具体的な取組
- ・学校運営協議会の開催（年間5回）

○各機関との連携

- ・民生児童委員、青少年健全育成の会と連携
- ・学童保育室、スポーツ少年団との相互理解
- ・地域学校協働本部との連携

特色ある学校づくりの推進

(1) タブレットの有効活用

- ・効果的な授業
- ・学習の保証

(2) 学校環境の整備

- ・デジタルフォトフレームの設置
(来校者へ学校の様子を周知する)
- ・ユニバーサルデザインに基づく教室掲示

(3) 全校遠足

- ・縦割り活動の充実

(4) 「高麗川っ子5つのがんばり」

今年度の研究課題

未来を創る高麗川っ子の育成

～協働的な学びで自分のよさを発見できる小中一貫教育～



高萩小学校



所在地	〒350-1213 日高市大字高萩800番地
電話番号	042-989-2321
開校記念日	10月19日
教職員数	33人
児童数	533人
学級数	21学級・通級指導教室
校長	梶野 義明
教頭	高橋 敏哉

学校の沿革・特色

本校は明治21年高萩小、女影小、霞小3校を統合し、鳳鳴小学校として開校、翌年高萩小学校と改称しました。本年、135年目を迎える伝統校です。市の東部に位置し、日光杉並木を擁する国道407号が南北に走り、川越・秩父を結ぶ県道と東西で交差する交通量の多い所を学区としています。また、本校の近くには「女影の古戦場跡」があり、歴史を物語る環境に恵まれた学校です。

学校教育目標と今年度の重点

〔学校教育目標〕

かしこく（知） やさしく（徳） たくましく（体）

〔めざす児童像〕

- かしこく ・夢をもち、目標に向かって学ぶ、進んで学ぶ、協働して学ぶ、自分の考えを伝える
- やさしく ・絆を大切に、仲良くする、他人の気持ちがかかる、豊かな感性
- たくましく ・進んで遊ぶ、進んで身体をきたえる、健康の大切さに気づく、明るい笑顔

〔今年度の重点〕 コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進

（1）頭をきたえる 確かな学力の育成

- ① 基礎的・基本的内容の定着
- ② 指導と評価の一体化
- ③ 思考力・判断力・表現力と創造する力の育成
- ④ 特別支援教育の推進
- ⑤ 算数化における教員の指導力向上と児童の学力向上
- ⑥ 非認知能力の伸長

（2）心をきたえる 道徳性・社会性の伸長

- ① 規律ある態度の育成
- ② 勤労・生産的活動の充実（黙働清掃の充実）
- ③ 感性の育成
- ④ 道徳科教育の充実
- ⑤ 教育相談の充実

（3）体をきたえる 健康の増進と体力の向上

- ① 体育授業の充実（運動量の確保）
- ② 体育環境の整備
- ③ 体を支える健康教育・食育の推進
- ④ 危機管理能力の育成・不審者対応

（4）地域を愛する心の育成

- ① 地域人材力の積極的活用
- ② 近隣施設を活用した地域の方々との交流活動の推進
- ③ ふるさとに関する学習内容の充実
- ④ コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進

特色ある学校づくりの推進

（1）朝の時間等の充実

- ① 月・木曜日に朝授業（国語15分間）を実施
- ② 水曜日にワンステップタイム（算数15分間）を実施
- ③ 金曜日に全校読書（15分間）を実施

（2）交流・福祉教育の充実

- ① 中学校教員の乗り入れ授業
- ② 高齢者との交流を推進
- ③ 学校応援団の充実

（3）縦割り班活動の充実

- ① 年間を通した縦割り活動の実施
- ② 縦割り遊びの実施（水曜日30分休みの活用）
- ③ 縦割り全校遠足の実施（11月）

今年度の研究課題

○ 教科：算数科

学力向上プロジェクトと学校課題研究を効果的に組み合わせ、教員の授業力向上を図る研究を行う。
・授業研究会の実施（毎学期） ・指導者招聘



高根小学校



学校の沿革・特色

本校は昭和48年に開校し、今年で51年目となります。こま川団地・東急団地の2つの団地を中心に中鹿山・下鹿山地区の児童が登校しています。敷地内では、桜・梅・けやきの樹木が、四季それぞれに美しい景観を呈しています。学校ファームも充実しています。学校応援団も活発で、登下校・学習面・環境面などで多くの保護者・地域の方々にご協力をいただいています。中庭の池は、児童と保護者・地域の方々により海中の絵が描かれ、憩いの場となっています。

学校教育目標と今年度の重点

1 学校教育目標

○かしこく(知) 自ら学ぶ子

- ・人の話をよく聞き、考え、自分の言葉で表現できる子
- ・主体的に考え、課題の解決に取り組む子

○なかよく(徳) 心豊かな子

- ・自分に誇りを持ち、自分も他人も大切にすること
- ・友達と仲よくできる子
- ・いじめをしない子、させない子

○たくましく(体) 心身ともにたくましい子

- ・何事にも全力で取り組む子
- ・心と体を鍛える子
- ・最後までやりぬく子

2 今年度の重点

○目指す学校像

豊かな心とやる気、自信をはぐくむ高根小学校
～交流と体験～

(1) 確かな学力の育成

- ・温かい心の通う学年・学級経営
- ・分かった、できた、おもしろいが実感できる授業の創造
- ・校内研修の継承と深化

(2) 豊かな心と健やかな体の育成

- ・生徒指導・教育相談体制の充実

所在地	〒350-1232 日高市大字中鹿山523番地3
電話番号	042-989-4982
開校記念日	3月3日
教職員数	19人
児童数	170人
学級数	9学級・通級指導教室
校長	原 政幸
教頭	橋本 孝史

- ・心の教育の推進
- ・特別活動の充実
- ・体力向上と健康増進
- (3) 環境教育及び学校環境の整備
- ・活気と潤いのある環境教育
- ・環境整備・安全指導の充実
- (4) 開かれた学校づくり
- ・積極的な情報提供
- ・学校公開
- ・幼稚園・保育園・中学校・大学との積極的な連携
- ・学校・家庭・地域の連携

特色ある学校づくりの推進

○コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進

<本年度の重点>

- ・9年間を見通した児童・生徒の育成
- ・自ら進んでコミュニケーションをとる児童の育成

今年度の研究課題

○目指す児童像

自ら進んでコミュニケーションをとる児童

○研究仮説

- ・児童の「考えてみたい」「伝えてみたい」気持ちを高めるしかけを設定すれば、児童は安心して取り組み、自ら進んで言語活動に取り組むだろう。
- ・協働的に学ぶ目的を設定すれば、児童は言葉による見方・考え方を働かせてコミュニケーションをとる力が高まるだろう。

研究内容

(1) 授業研究部

- ・国語科「話す・聞く」の児童の実態に合った授業づくりの検討
- ・学年ごとのつながりをおさえた授業づくり

(2) 授業研究部

- ・学校全体の環境整備
- ・児童の「話す・聞く」の成長を促す学級グッズの作成



高萩北小学校



学校の沿革・特色

本校は、コミュニティスクールを基盤とした小中一貫教育の充実へ向け、高萩北中学校との連携を図り、地域や保護者の皆様に支えられ豊かな教育活動を展開しています。

日々の学習や生活指導を大切にして、全職員が力を合わせ組織的に取り組んでいます。

経営の基盤を「安全で安心な楽しい学校」とし、教職員、保護者、地域の協力体制を構築し、一人一人の子供の幸せを願い追求することを共通理解し、児童の育成に取り組んでいます。

学校教育目標と今年度の重点

1 学校教育目標

- かしこく 「言葉を大切にする子」
- あたたかく 「気持ちのやさしい子」
- つよく 「自分に負けない子」

2 学校教育目標の具現化

- かしこく（知）
 - ・学習指導要領に基づく教育過程の円滑な実施と評価の実践
 - ・学ぶことが楽しいと感じる授業の実践
 - ・学年、学級経営の充実
 - ・特別支援教育の推進
 - ・学習環境の整備
 - ・校内研究、研修の推進
- あたたかく（徳）
 - ・規律ある態度と豊かな心の育成
 - ・人権教育の推進
 - ・道徳教育の推進
- つよく（体）
 - ・体力向上の推進
 - ・安全教育の推進
 - ・適応力向上の推進

所在地 〒350-1203
日高市大字旭ヶ丘800番地

電話番号 042-985-2020

開校記念日 11月2日

教職員数 34人

児童数 553人

学級数 22学級・通級指導教室

校長 橋本 泰伸

教頭 初野 聡子

3 今年度の重点

◎「凡事徹底＝当たり前のことを当たり前に行う」
～時と場に応じた服装・言葉・態度の徹底を図る～

特色ある学校づくりの推進

1 目指す児童生徒像（高萩北小中学校共通）

◎明日をひらき のびゆく輝多っ子

- 知 自ら学び続ける子
- 徳 相手の気持ちを考え行動できる子
- 体 進んで運動を楽しめる子

2 目指す学校像

◎夢・笑顔・元気いっぱいの学校

～想像力豊かな児童の育成と創造力溢れる学校づくり～

- ①学ぶ喜びを味わえる学校
- ②多様な考え方を大切にする学校
- ③思いやりがあり、明るくさわやかな学校
- ④活力がみなぎり、日々成長する学校
- ⑤安心・安全・清潔感のある学校

3 目指す教師像

◎強い情熱・教育のプロとしての自覚・総合的な人間力

- 【強い情熱】 ・向上心 ・探究心 ・挑戦心
- 【教育のプロ】 ・積極性 ・創造性 ・計画性
- 【人間力】 ・協働力 ・組織力 ・包容力

4 目指す保護者・地域社会像

- ①学校と共に子供の自立と幸せを目指す
- ②分け隔てなく子供に接する
- ③協力することの大切さを教える
- ④地域学校協働本部を主体とした活動を展開する

5 継承するもの（北小の宝）

- あいさつ ○黙働流汗の清掃
- 地域との連携 ○全校マラソン



高麗中学校



学校の沿革・特色

市のシンボル日和田山、500万本の曼珠沙華が見事な巾着田、高麗神社をはじめとする1300年の歴史と文化に富んだ高麗の里、教育に高い関心を寄せる地域社会と恵まれた環境の中で本校の特色ある教育が展開されています。

①「ノーチャイム」②「全力清掃」③「あいさつ」④「伝統の学校行事」⑤「校歌」の5つを自分たちの誇りとする生徒たちが、自律の精神に富んだ明るい学校生活を送っています。小中一貫教育を推進する中で、自然を愛する心が脈々と受け継がれている「河川清掃」、2年生全員が自分の生き方や夢を発表し合う「立志式」など、50年以上の伝統を持つ行事を継続し、豊かな心を育てています。

学校教育目標と今年度の重点

1 学校教育目標

よく学び 心豊かに たくましく

2 めざす生徒像 「〇〇で輝く高麗中生！」

- ・高麗に誇りをもち郷土を愛する生徒（郷育）
- ・志を立て進んで学ぶ生徒（知育）
- ・他者を尊重し協働する生徒（徳育）
- ・心と体を鍛えたくましい生徒（体育）

(1) 高麗に誇りをもち郷土を愛する生徒（郷育）
○小中一貫教育の推進を通して、郷土高麗に誇りをもつ生徒の育成を図る

(2) 志を立て進んで学ぶ生徒（知育）

○自律する生徒

○学ぶ楽しさが分かる生徒

(3) 他者を尊重し協働する生徒（徳育）

○礼儀と感謝を重んじる生徒

○一人一人のよさを認め合う生徒

（人権尊重に立った教育）

(4) 心と体を鍛えたくましい生徒（体育）

○ねばり強く挑戦する心身共にたくましい生徒

○自分のよさを理解し、自信を持っている生徒

3 目指す学校像

「ミラクル高麗中 奇跡を起こせ！」

生徒ひとり一人のよさや取り柄を伸ばし

奇跡を起こす学校

・当たり前のことが当たり前でできるのがよさ

・相当な努力によって身につけた高い能力が取り柄

所在地 〒350-1246

日高市大字梅原350番地

電話番号 042-989-1017

開校記念日 5月2日

教職員数 17人

生徒数 127人

学級数 7学級

校長 大里 治泰

教頭 永島 慎嗣

4 今年度の重点

(1) 確かな学力の育成

指導法の工夫改善（主体的・対話的で深い学び）を図り、確かな学力の向上を図る・タブレット端末を活用した家庭学習の充実・基礎基本の徹底と学習規律の確立・個に応じた指導法の改善

(2) 豊かな心の育成

伝統ある学校行事の充実・地域の人や地域の自然を生かした環境教育の実践活動の推進・道徳的実践力の育成・生徒の、生徒による、生徒のための生徒会活動の推進・積極的な生徒指導

(3) 小中一貫教育の推進

令和7年度義務教育学校高麗小中学校開校に向けた準備、学校運営協議会の連携と協力推進（年間5回）小学校や地域との連携（小中授業交流、児童生徒間の交流、小中PTA・高麗コミュニティ会議・青少年健全育成会議）

(4) 生徒への支援体制の充実

①学年別支援 生徒を学年単位で支援する

②チーム支援 各学級をチームに見立て、複数の教員で支援する

活動内容に応じた支援体制を作り、生徒ひとり一人をきめ細やかに支援する。実情に応じた様々な学び方に柔軟に対応し、学びを支援する。保護者、生徒とのチーム面談を年一回実施する。

特色ある学校づくりの推進

【郷土色を持つ、明るく特色ある学校】

○高麗のよさを語る生徒の育成（郷育）

（立志式・河川清掃・小中あいさつ運動）

○基本的生活習慣・自律的態度の育成

（①ノーチャイム②全力清掃③しっかりあいさつ④高らかに校歌を歌える高麗中生）

○学ぶ喜びが感じられる学校

（伸びる喜び、わかる喜び、生きる喜び）

○心の交流（安全と信頼関係）がある学校

（地域行事への参加と協力・ボランティア活動への参加と交流）

【本年度の研究課題】

見方・考え方を働かせる授業の研究

～学びの過程を重視する授業づくり～



高麗川中学校



所在地	〒350-1205 日高市大字原宿49番地
電話番号	042-989-1158
開校記念日	11月15日
教職員数	29人
生徒数	447人
学級数	15学級
校長	久米 隆寛
教頭	藤倉 義弘

学校の沿革・特色

校門から中庭中央の「大けやき」が、創立以来の歴史を象徴しています。無言での清掃が徹底され、学校をきれいに維持しようとする生徒一人一人の意識が浸透しています。小中共通目標として「ふるさとを愛し、自ら進んで学ぶ、心豊かな高麗川っ子」を学校運営協議会で設定し、9年間を見通した児童生徒の育成を目指し小中一貫教育を進めています。

「できないをできるに変え、夢ある未来を拓く学校」を基本理念に、学校・保護者・地域の三者が一体となって教育活動を展開しています。

学校教育目標と今年度の重点

【校訓】 真実・協力・勤勉

【学校教育目標】 自立と貢献

【めざす学校像】

～誇れる学校、自慢できる学校～

- (1) 正義が通り、だれもが笑顔で安心して活動する学校（真実）
- (2) 主体的・対話的で深い学びにより、学ぶ喜びを味わえる学校（勤勉）
- (3) 地域に期待され、信頼される学校（協力）

【めざす教師像】

～できないをできるに変える教師～

- (1) 教育に情熱をもち、生徒と本気で向き合う教師
- (2) 生徒と感動を共有する心豊かな教師
- (3) 研究と修養に努め、自己変革する教師

【めざす生徒像】

～夢ある未来を拓く生徒～

- (1) 進んで学ぼうとする意欲をもち、強い意志で行動できる生徒（自立）
- (2) 豊かな感性を有し、思いやりをもち、社会に貢献できる生徒（貢献）

特色ある教育活動

- (1) 豊かな生徒会活動
 - ・生徒会憲章、生徒会スローガンを軸にした生徒会活動
 - ・地域ボランティア活動への参加
- (2) 静と動を大切にした学校生活
 - ・無言、隅々、気づき清掃
 - ・朝読書とチャイム前着席
 - ・さわやかな挨拶
- (3) 主体的な部活動・一致団結する行事
 - ・互いに磨き合い、鍛え合う部活動
 - ・絆を深める体育祭・合唱祭

今年度の研究課題（小中共通テーマ）

未来を創る高麗川っ子の育成

～協働的な学びで自分のよさを発見できる小中一貫教育～

- (1) 学校運営協議会を確実に実施し学校・保護者・地域の連携を深める。
- (2) 小中共通目標「ふるさとを愛し、自ら進んで学ぶ、心豊かな高麗川っ子」を目指し、小中一貫教育を推進する。
- (3) 学校運営協議会と地域学校協働活動推進員を核とした連携により、地域学校協働活動を実施する。



高萩中学校



学校の沿革・特色

本校は、昭和22年4月高萩飛行場跡地に開校し、昭和28年現在地に移転、昭和54年新校舎となり、今年開校77年目を迎えます。

「みんなで創る笑顔あふれるおらが地域の学校」を目指す学校像、また「ふるさとを愛し、生きていく力を育む萩っ子」を高萩小中学校での目指す児童生徒像とし、小中一貫教育を推進しています。

また、開かれた学校として平成31年4月より、コミュニティ・スクール制度を導入しています。

学校教育の目標と今年度の重点目標

【学校教育目標】賢く 優しく 逞しく

【今年度の重点】

① 開かれた学校

- コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の実施
 - ・地域学校協働本部との連携・協力
 - ・日課、行事計画の連絡・調整
- PTAや地域住民と連携した地域貢献活動の実践
- 生徒の活動が伝わる教育活動の実施

② 確かな学力の向上

- 「学びに向かう力・人間性等」の涵養
 - ・ICTを活用した授業実践
 - ・9年間を見通した非認知能力の育成
 - ・「できた、わかった、認められた」と感じられる授業展開の工夫（UD、特別支援教育の視点を生かす）
 - ・特別支援教育の充実
- 主体的・対話的で深い学びの実現
 - ・互いの考えを深め合う場の創造
- 基礎学力の定着
 - ・授業力の向上と家庭学習の充実

所在地 〒350-1213
日高市大字高萩792番地 1

電話番号 042-989-2146

開校記念日 4月28日

教職員数 23人

生徒数 303人

学級数 11学級

校長 河村 康郎

教頭 川口 聡

③ 豊かな心の育成

- 自他を大切にする心を育む教育活動の展開
 - ・コロナ禍後における互いを尊重した絆を育む教育活動の推進
 - ・いじめや暴力を許さない学校の風土づくり
 - ・学級活動、生徒会活動の充実（為すことによって学ぶ）
- 積極的な生徒指導の充実（自己有用感の醸成）
 - ・生徒主体の校則見直し
- 教育相談の充実（いじめ、悩み事の早期発見・早期解決）
 - ・SNS等の安全な利用についての啓発を実施

④ 健やかな体を育む環境整備

- 鍛え、高めあう活動の充実
 - ・計画的な部活動、体育的活動の実施（健康増進と体力向上）
- 清潔で落ち着いた学校の環境づくり
 - ・きれいな学校を次世代の後輩に渡すための清掃・美化活動
- 安全教育の充実と危機管理の徹底
 - ・実践的な避難訓練、引き渡し訓練、メール配信の実施
 - ・交通安全教育の実施・安全点検の実施と修繕対応

⑤ 教職員の資質向上

- 学校研究の推進（学力向上について）
 - ・高萩小の校内研究との連携
- 授業研究（指導者を承継した県学力向上重点支援）
- 外部研修への積極的な参加

特色ある学校づくりの推進

本校では、環境について配慮し、資源回収、地域清掃生徒会主催の通学路清掃等を行っています。また、ボランティア活動にも積極的に参加をしています。

今年度の研究課題

「小中一貫教育における学力向上の取組」の研究に取り組んでいきます。



高根中学校



学校の沿革・特色

本校は、今年で開校41年目を迎えました。生徒数は125人、1学年は1学級、2・3学年は2学級、特別支援学級2学級の小規模校です。学校周辺は四季折々の花や鳥など豊かな自然にあふれています。

生徒は明るく素直で「自分の頭で考え、判断し、正しい選択のできる生徒」を今年度の特別活動の重点とし、生徒会を中心に様々な行事に積極的に取り組んでいます。

職員は、「使命感と愛情に溢れる教師」を目指し、目指す学校像である「未来を生き抜く力を育てる世界に誇れる美しい学校」の実現に向けて、日々励んでいます。

地域や保護者はとても協力的であり、様々な行事に進んで参加してくださっています。

学校教育目標と今年度の重点

学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた児童・生徒の育成

1 今年度の重点

(1) 社会的に自立した生徒の育成

- ①「考える力」「判断する力」を育む言葉がけ
- ②生徒会活動・各行事の実行委員会において考える場面を意図的に設定する
- ③小学校との連携

(2) 学力の向上

- ① 9年間を見通した学力向上計画の完成
- ② わかる授業の実践と学びの定着
- ③ 学力向上を目指した指導方法の工夫改善
- ④ 学びに向かわせる取り組みの実践
- ⑤ 夢の実現に迫る進路指導の実践

(3) 徳力の向上

- ① 9年間を見通した徳力向上計画の完成
- ② 学級・生徒会活動の充実
- ③ 人権教育、道徳の時間の充実
- ④ 体験活動の充実
- ⑤ 清掃指導の充実
- ⑥ 生徒指導・教育相談の推進
- ⑦ 学校内生徒組織の再編計画

所在地 〒350-1227

日高市大字女影1180番地

電話番号 042-985-3633

開校記念日 11月15日

教職員数 18人

生徒数 125人

学級数 7学級

校長 三芳 雅彦

教頭 藤田 剛典

(4) 体力の向上

- ① 9年間を見通した体力向上計画の完成
- ② 体育的行事の工夫
- ③ 体力向上に向けた環境整備
- ④ 健康教育・学校保健委員会の工夫
- ⑤ ライフスキル教育の工夫

(5) 学校経営の効率化

- ① 職員会議の効率化
- ② 校務支援ソフトの活用研究
- ③ 全教科・領域で見える化
- ④ 目標の連鎖（人事評価）
- ⑤ 校内研修の組織化

(6) 安心安全の確保

- ① 学校教育環境の充実と整備の推進
- ② 施設の点検整備と事故防止の推進
- ③ 教育環境における衛生管理・危機管理の推進

(7) 地域とともに歩む学校

- ① 青少年健全育成の会との連携
- ② 学校の地域公開
- ③ 小学校及び地域との連携
- ④ 学校運営協議会の活性化

特色ある学校づくりの推進

- 1 学力・徳力・体力向上3部会の活動
各部会で様々な取組を実践し、全職員で生徒のためになることを実行します。
- 2 体験活動の充実
旅行的行事や職場体験学習などを通して、「生きる力」の育成を図ります。
- 3 小中連携の推進
小中合同の研修会、9年間を見通した教育課程等、高根小学校との連携を図った取組を推進します。

今年度の研究課題

昨年度から「9年間を見通した児童生徒の育成」を学校研究課題に位置づけて、令和6年義務教育学校開校に向けた児童生徒の自治能力の育成、特別活動の新しいあり方についての研究を推進していきます。



高萩北中学校



学校の沿革・特色

昭和20年12月1日、60万坪余りの飛行場跡地に124人の高萩開拓団が入植し、幾多の困難を乗り越えて旭ヶ丘が拓かれました。この緑多き地に昭和59年4月1日に高萩中学校から分離し、高萩北中学校は514人・13学級にて開校しました。生徒数は平成元年を境に減少傾向で、40周年を迎えた今年度は360人・12学級となっています。保護者は、学校への関心が高く協力的であり、PTA活動や地域内の活動も盛んに行われています。また高萩北地区では、青少年健全育成の会を中心に、幼保・小・中・高の連携でBJプロジェクトを推進しています。

校区の北から南に「鎌倉街道」、東には「日光街道杉並木」があり往年の歴史を物語っています。また圏央道や振興住宅、大型スーパー等も誘致され現代的な発展も遂げています。

学校教育目標と今年度の重点

1 学校教育の目標

- 自立・・・自己実現にチャレンジする
 - 自分の考えや行動に責任を持つ
 - 他人の気持ちを考えられる
- 創造・・・飽くなき探究心
 - 新しい発想や工夫で問題を解決し、新しい「価値」を生み出す
- 貢献・・・利他の心
 - 誰かのために役に立つ
 - 人間性の成長

所在地	〒350-1203 日高市大字旭ヶ丘181番地 1
電話番号	042-985-2112
開校記念日	11月 2 日
教職員数	25人
生徒数	360人
学級数	12学級
校長	島津 芳久
教頭	阿部 武晴

2 今年度の重点目標

(1) 開かれた学校づくり

- コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の実施
- 地域学校協働活動「輝多っ子サポーターズ」との協働活動を推進
- 生徒の活動が伝わる教育活動の実施

(2) 確かな学力向上

- 主体的・対話的で深い学びの実現
- 非認知能力の育成
- 自ら学ぶ姿勢の育成

(3) 豊かな心の育成

- 自他を大切にする心を育む教育活動の展開
- 積極的な生徒指導の充実
- 教育相談の充実
- 学級活動、生徒会活動の充実

(4) 健やかな体を育む環境整備

- 落ち着いて学習に取り組める環境づくり
- 感染防止と学習活動の両立
- 生活リズムの安定と効率的な部活動の取り組み

(5) 教職員の資質向上

- 「特別の教科 道徳」の充実
- 教師力、授業力の向上
- 外部研修への積極的参加

今年度の研究課題

- 研究主題
～豊かな心の育成～



武蔵台小中学校



学校の沿革・特色

令和5年4月1日、旧武蔵台小学校を新しい校舎として、義務教育学校日高市立武蔵台小中学校が開校しました。

多峯主山の北、高麗丘陵の高台に広がる武蔵台及び横手台地区の住宅地の中に位置し、周囲を奥武蔵の山々に囲まれています。四季の自然の変化が美しく、季節の風を感じられます。学校敷地内でも、野鳥のさえずり、四季折々の自然の変化も見られ、ビオトープは動植物の観察等にも活用されています。

学校教育目標と今年度の重点

1 学校教育目標

自立 かんがえる子 じょうぶな子

創造 かんどうする子

共生 なかよくする子

2 学校経営の基本理念

「みんなが笑顔になる学校づくり」

3 目指す学校像

「地域に愛され、未来に向かって共に学びをつくる学校」

4 目指す教師像

「実力があって信頼される教師」

5 特色ある教育活動

<異年齢交流活動の推進>

「憧れと尊敬の念を育む」

- ・学校行事等、意図的・計画的に交流の機会を設定
- ・児童生徒会が企画した異年齢交流活動の実施
- ・5年生からの部活動の参加（任意）
- ・5、6年生と後期課程の生徒との委員会活動

<社会に開かれた教育課程 地域の教育力を生かした教育活動の推進>

「地域に教育内容・課題・成果を発信し、地域の教育力を活用する」

所在地 〒350-1255

日高市武蔵台五丁目1番1号

電話番号 042-982-2221

開校記念日 11月1日

教職員数 30人

児童生徒数 311人

学級数 14学級

校長 秋馬 信之

教頭 澤田 秀一 荒川 宗近

- ・コミュニティ・スクールの一層の推進と地域学校協働本部との連携を強化する

<前期課程（4～6年生）における一部教科担任制の導入>

- ・中1ギャップの解消 学力向上
- ・英語（4～6年）、社会（4～6年）
- 音楽（6年）、算数（6年）

6 今年度の重点

<義務教育学校の基礎をつくる>

「教育課程の基礎をつくる」

- ・PDCAサイクルで回す

<学力向上>

「児童生徒が主語となる授業」

- ・主体的・対話的で深い学びを軸に魅力ある授業をつくる
- ・自分の考えや思いを伝え合う授業をつくる
- ・タブレット端末を活用した質の高いオンライン授業の展開

<校内研修の充実>

「子どもの学びの向上に繋がる研修を実施し、教職員の資質・能力の向上に努める」

- ・研修課題を教職員から募集し、自分事として捉えた研修を、計画的・組織的・継続的に行う

<生徒指導・教育相談の充実>

「児童生徒最優先の姿勢に徹し、9年間一貫した指導・支援を行う」

- ・児童生徒の話を聞く、子供たちと確かな関わり合いをもつ
- ・教職員間の報告・連絡・相談・見届けの徹底

教育センター

教育に関する専門的・技術的事項の調査研究、教育関係職員の研修、学校訪問及び就学相談等により教育の充実と振興を図ります。また、幼児及び児童生徒の教育上の問題に関する相談にあたり、子どもたちがより良く成長するための支援活動として教育相談を行います。

1 教育に関する専門的・技術的事項の調査研究（委嘱研究委員会）

市内小・中・義務教育学校の教員及び関係機関の教職員等を構成員とする委員会を設置し、各種の調査及び研究を行っています。

- (1) 体力向上推進委員会 （8人） 年5回

児童生徒の体力等の調査、体格、学校事故等の分析と対策

- (2) 社会科副読本検討委員会（5人） 年6回

データ更新や内容充実のための改訂・追加作業、指導用資料の作成

- (3) 学力向上推進委員会 （14人） 年6回

児童生徒の学力向上を目指した指導法の工夫改善・カリキュラムの検討

- (4) 情報教育推進委員会 （7人） 年5回

I C Tを活用した教育の推進と充実を図る。

2 教育関係職員の研修

市内小・中・義務教育学校の教職員の資質向上を図るため、研修を実施しています。

○臨任教員・任期付教員研修会：教育公務員としての自覚認識、指導力の向上等

○生徒指導・教育相談中級研修会：教育相談に関する講義、演習、協議等

○特別支援教育講演会：児童生徒の発達障がいへの理解とその効果的な支援

○学級経営学習会：学級運営に関する講義、演習、協議等

○教育講演会：喫緊の教育課題についての講演

○小・中・義務教育学校英語教育研修会：授業の進め方についての講義、協議、研究授業等

3 教育相談活動

幼児及び児童生徒の教育上の問題や本人、保護者及び教職員の教育相談に対応します。

- (1) 相談方法

○電話相談及び面接相談：教育相談員2人、臨床心理士2人

- (2) 活動内容

①幼児及び児童生徒のための教育上の問題や、本人、保護者及び教職員の教育相談にあたり、学校教育の向上に努めること。

②不登校児童生徒の相談及び支援にあたり、学校復帰や社会的自立を目指すこと。

③教育相談についての調査研究を進めること。

④各学校の教育相談活動充実のための情報を提供すること。

⑤「広報ひだか」を通じて、市民に対して、教育相談的な見方や考え方についての情報を提供すること。

- (3) 相談及び活動の日時等



教育相談室

①対 象：幼児、児童生徒、保護者及び教職員

②相談日：毎週月曜日～金曜日 午前10時～午後5時

4 教育支援センター（学校適応指導教室）—センターユリイカ・高萩中ユリイカ—

長期間欠席状態にある市内小・中・義務教育学校の児童生徒に対し、教育相談を中心とした学校への復帰や自立への支援を目指している教室です。

(1) 組 織

不登校児童生徒のための教室：教育指導員3人、学習支援員1人

(2) 活動内容

①不登校児童生徒の相談及び支援にあたり、学校復帰や社会的自立を目指すこと。

②不登校児童生徒の保護者の相談にあたり、家庭との連携を深めること。

③不登校児童生徒の学校復帰のための支援方策に関する調査研究を行うこと。

(3) 教室の開設の日時等

①対 象：市内小・中・義務教育学校の児童生徒

②開設日：毎週月曜日～金曜日 午前10時00分～午後2時30分

5 就学に関する事業

就学支援委員会を年5回開き、委嘱した就学支援委員（21人）により、就学に関する相談等の就学全般について協議し、関係機関等と連携を図り、望ましい就学への支援を行っています。

6 A E T（英語指導助手）配置事業

英語教育の充実及び国際理解教育の推進を図るため、7人のA E Tを配置しています。各中学校及び義務教育学校後期課程の指導だけでなく、各小学校及び義務教育学校前期課程の外国語科・外国語活動の指導も行っています。生きた英語を通して、担当教員の資質の向上を図り、児童生徒の英語に対する興味及び関心を高め、コミュニケーション能力の育成及び向上を図ります。

7 小学校及び義務教育学校前期課程外国語活動推進事業

A E Tと担任とのティーム・ティーチングの形で、中学年で年間35時間の外国語活動、高学年で年間70時間の外国語の授業を実施しています。外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力の育成を目指します。

8 海外留学擬似体験事業

英語でのコミュニケーションへの興味・関心を高め、学習意欲の高い生徒を育むため、市内留学として英語指導助手と英語のみで会話をしながら、海外留学中の様々な場面の擬似体験を行います。

9 English日高塾（英語検定対策講座）

英語検定3級以上の合格を目指すため、試験対策として、筆記試験及び面接試験に向けたEnglish日高塾（英語検定対策講座）を実施します。

10 放課後日高塾

小学校及び義務教育学校前期課程3年生を対象に、各地区の学校や公民館で放課後日高塾を実施します。地域スタッフの方と共に、宿題やプリントに取り組む時間を提供する補習の場です。

学校給食

学校給食は、児童生徒に栄養のバランスのとれた食事を提供することにより、心身の健全な発達に資することや食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たしています。

＜学校給食法第2条抜粋＞ 学校給食の目標

- (1) 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- (2) 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- (3) 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- (4) 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- (5) 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- (6) 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- (7) 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

1 学校給食センターの概要（令和5年4月現在）

区 分	学校給食センター		所在地
対 象 校	小学校及び義務教育学校前期課程 6 校	中学校及び義務教育学校後期課程 6 校	日高市大字鹿山19番地 電話番号 (042)985－3600 FAX番号 (042)985－3602
給 食 数	2,603食	1,660食	
従事者数	所長 1 人		
	事務職員 2 人		
	学校給食栄養管理者 2 人		
	調理・配送業務（委託）		

2 令和5年度事業 給食実施計画

区 分	期 間	
	小学校及び義務教育学校前期課程	中学校及び義務教育学校後期課程
第1学期	4月12日～7月19日	4月12日～7月19日
第2学期	8月30日～12月20日	8月30日～12月20日
第3学期	1月11日～3月21日	1月11日～3月22日
実質給食数	190回	190回

学校給食費

区 分	学校給食費 (月額)	1食当たり
小学校及び義務教育学校前期課程	4,300円	248円
中学校及び義務教育学校後期課程	5,200円	301円

主食サイクル

区 分	1週間当たり
パ ン	0.5回
米 飯	4.0回
め ん	0.5回

《さまざまな取り組み》

- ① 給食の試食会 保護者を対象に、学校給食への理解を深めるための試食会を実施します。
- ② リクエスト給食 小学6年生と中学3年生を対象に、複数の献立の中から投票で選択する「リクエスト給食」を実施します。
- ③ アレルギー対策 食物アレルギーを有する児童生徒に対し、食物アレルギー対応食の提供を実施します。
- ④ 学校訪問 1月下旬の「全国学校給食週間」中に学校を訪問し、食に対する関心を高めるよう働きかけをします。
- ⑤ 弁当の日 食材や食事を作ってくれる人への感謝の気持ちを育てるため、各自が弁当を持参する「弁当の日」を実施します。
- ⑥ 地場産物の使用 市の特産物である「うど」などを使った献立、地元農家が栽培した「とうもろこし」などを提供します。また、市の特産「狭山茶」を子どもたちに楽しんでもらう「お茶の日」を新たに設ける予定です。

《学校給食費について》

学校給食費は食材の購入費用に限定して使われ、光熱水費や学校給食センターの運営費は全て市で負担しています。

学校給食費(月額)の推移

改定時期	小学校	中学校
昭和 47 年 10 月	1,200 円	1,500 円
昭和 49 年 1 月	1,500 円	1,850 円
昭和 49 年 9 月	2,000 円	2,500 円
昭和 51 年 4 月	2,300 円	2,800 円
昭和 53 年 4 月	2,600 円	3,200 円
昭和 56 年 4 月	3,000 円	3,700 円
平成 3 年 4 月	3,300 円	4,000 円
平成 20 年 12 月	3,800 円	4,700 円
令和 5 年 4 月	4,300 円	5,200 円



令和5年度から開始した「おかず一品増」の献立（ごはん、野菜スープ、チキンガーリックステーキ、ほうれん草とコーンのバター炒め、牛乳）です。

教育費支援

1 就学援助制度

日高市立の小・中・義務教育学校に通うお子さんがいて、経済的に困りの保護者の方に対し、学校で必要となる諸経費（学用品費・給食費・医療費等）の一部を援助しています。

【対象者】

日高市に住所があり、市内の小・中・義務教育学校に通うお子さんのいる世帯で、次のいずれかに該当し教育委員会が認めた人

- 1 世帯で働いている人全員の市民税が、非課税である場合又は減免を受けている場合
- 2 個人事業税又は固定資産税の減免を受けている場合
- 3 国民年金に加入している人全員の保険料が、掛金の免除を受けている場合
- 4 国民健康保険税が、減免又は猶予されている場合
- 5 児童扶養手当を受給している場合（※特別児童扶養手当は対象外）
- 6 上記1～5には該当しないが、生活保護程度の所得で経済的に困りの場合

【援助の内容】

	小学校及び義務教育学校前期課程		中学校及び義務教育学校後期課程		備考
	1 年生	2 ～ 6 年生	1 年生 (7 年生)	2 ～ 3 年生 (8 ～ 9 年生)	
新入学児童生徒学用品費等	54,060 円	—	60,000 円	—	認定された保護者へ入学前2月から支給
学用品購入費	11,630 円		22,730 円		7、12、3月の学期末に月割額を保護者へ支給 ただし、校外活動費は実績に基づく対象経費（交通費及び見学科等）のみ
通学用品費	—	2,270 円	—	2,270 円	
校外活動費 (宿泊あり)	3,690 円(限度額)		6,210 円(限度額)		
校外活動費 (宿泊なし)	1,600 円(限度額)		2,310 円(限度額)		
修学旅行費	22,690 円(限度額)		60,910 円(限度額)		終了後、実績に基づく対象経費（やむを得ない事情を除き全員が均一に支払った費用等）のみ保護者へ支給
学校給食費	4,300 円(1 か月の単価)		5,200 円(1 か月の単価)		実績に基づき、教育委員会 が学校給食センターへ支払い
医療費	学校の健康診断による治療勧告に基づき、医療券を発行 対象となる疾病は定められた疾病のみ（下記備考欄参照）				
日本スポーツ振興 センター共済掛金	460 円（保護者負担分）				5月末までに、教育委員会 が日本スポーツ振興センタ ーへ支払い

【備考】

○学校給食費以外は年額記載のため、認定月によって支給額が異なります。

○5月以降の認定者は、（年額）/12×該当月数分を支給します。（学用品費・通学用品費）

○医療費に該当する定められた疾病は以下のとおりです。

トラコーマ・結膜炎・白癬^{はくせん}・疥癬^{かいせん}・膿疱疹^{のうほうしん}（とびひ等）・中耳炎・慢性副鼻腔炎^{まんせいふくびくうえん}・アデノイド・齲歯^{うし}（むし歯）・寄生虫病（ぎょう虫卵保有を含む。）

2 入学準備金融融資制度

高等学校、専修学校、高等専門学校、短期大学、大学への入学に要する資金の調達が困難な保護者に対して、資金の融資をしています。

【対象者】

高等学校、専修学校、高等専門学校、短期大学、大学に入学を予定している人の保護者で、次の全ての条件を満たしている人

- 1 入学に要する資金の調達が困難なこと。
- 2 市内に住所を有していること。
- 3 市(区)町村税を滞納していないこと。
- 4 連帯保証人がいること。
- 5 返済能力があること。

※自己資金がある人や親族、知人、金融機関などから入学金等を全額調達できる人、国や県など他の奨学金や入学金等の制度を利用できる人は、この制度の対象にはなりません。

【融資の内容】

融資限度額	区 分	高等学校・専修学校・高等専門学校	短期大学・大学
	国・公立	15 万円	40 万円
	私 立	50 万円	70 万円
融資方法	融資決定後、取扱金融機関から融資		
返済期間	5年以内 ○希望により最初の6か月間、返済を据え置くことができます。 ○据置期間は、利子分のみの返済となります。 ○据置期間は、返済期間に含まれます。		
利子	無利子 ○年度ごとに利子分を借受人に支給します。 ○延滞した分の利子については、借受人の負担となります。		
返済方法	毎月、口座引き落とし ○繰上げ返済もできます。 ○返済が3か月間延滞すると、連帯保証人へ請求します。		



資 料

歴代の委員長	1
歴代の教育長	1
令和4年度教育委員会会議	2
教育委員会職員数	5
児童生徒数・学級数	7
未就学児数	7
児童・生徒の推移	8
令和5年3月中学校卒業者の進路状況	8
学校施設	9
指定文化財一覧・国登録有形文化財一覧	10
教育委員会関係機関一覧	11
教育委員会表彰	12
教育委員会関係略年表	13

歴代の委員長

氏 名	任 期
関 根 正 二	昭和３０年 ２月１１日～昭和３０年 ５月２３日
横 手 義 一	昭和３０年 ５月２４日～昭和３１年 ９月３０日
吉 野 正 雄	昭和３１年１０月 １日～昭和３３年 ６月３０日
横 手 義 一	昭和３３年 ９月２０日～昭和３４年１１月 ８日
長 岡 礼 司	昭和３４年１１月 ９日～昭和４０年 ３月３１日
岡 上 孝	昭和４０年 ７月 ５日～昭和４０年 ９月３０日
水 村 平 吉	昭和４１年 ４月１９日～昭和４４年 ９月３０日
加 藤 倉 治	昭和４４年１０月 １日～昭和４６年 ９月３０日
比留間 清治郎	昭和４６年１０月 １日～昭和４８年 ９月３０日
大 沢 昭	昭和４８年１０月 １日～昭和５３年 ９月３０日
犬 竹 喜 男	昭和５３年１０月 １日～昭和５４年１２月２４日
大河原 栄 一	昭和５４年１２月２７日～平成 ２年１０月１１日
吉 本 健	平成 ２年１２月２０日～平成 ４年 ９月３０日
清 水 勇 三	平成 ４年１０月２０日～平成１０年 ６月３０日
石 井 照 代	平成１０年 ７月 １日～平成１９年 ６月２４日
矢 次 健 志	平成１９年 ６月２９日～平成２８年 ３月３１日

※平成２７年４月１日の法改正に伴う教育委員会制度の変更により委員長職は廃止となりました。

歴代の教育長

氏 名	任 期
国 分 一 雄	昭和３０年 ２月１１日～昭和３１年 ９月３０日
新 井 次 郎	昭和３１年１０月 １日～昭和４３年 ９月３０日
加 藤 貞 治	昭和４３年１０月 １日～昭和５１年 ３月３１日
中 島 照 光	昭和５１年 ４月１２日～昭和５６年 ５月 ２日
飯 野 五 郎	昭和５６年 ５月２７日～平成 ４年 ３月３１日
犬 竹 郷 美	平成 ４年 ４月 ２日～平成１２年 ４月 １日
大 沢 幸 夫	平成１２年 ４月 ２日～平成１７年１２月１５日
早 川 康 弘	平成１８年 ４月 １日～平成２５年 ３月３１日
佐 藤 信 弘	平成２５年 ４月 １日～平成２８年 ３月３１日
中 村 一 夫	平成２８年 ４月 １日～

令和４年度教育委員会会議

NO	回数	件名	傍聴者数
1	令和４年 第３回	報告第２号 専決処理について 議案第２０号 日高市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 議案第２１号 日高市就学支援委員会委員の委嘱について	０人
2	令和４年 第４回	議案第２２号 日高市役所出張所設置条例及び日高市公民館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例 議案第２３号 日高市立公民館の使用に関する条例施行規則の一部を改正する規則及び日高市立図書館の設置及び管理等に関する条例施行規則の一部を改正する規則の一部を改正する規則 議案第２４号 日高市立公民館の使用料の免除に係るボランティア等団体の認定に関する要綱 議案第２５号 日高市立図書館の使用料の免除に係るボランティア等団体の認定に関する要綱 議案第２６号 日高市就学支援委員会委員の委嘱について 議案第２７号 日高市学校運営協議会委員の任命について 議案第２８号 日高市地域学校協働活動推進員の委嘱について 議案第２９号 日高市人権教育推進協議会委員の委嘱について 報告第３号 専決処理について	０人
3	令和４年 第５回	報告第４号 専決処理について 議案第３０号 学校の設置及び廃止の方針について 議案第３１号 日高市社会教育委員の委嘱について 議案第３２号 日高市地域学校協働活動推進員の委嘱について	２人
4	令和４年 第６回	議案第３３号 日高市学校給食センター運営委員会への諮問について 議案第３４号 日高市教育振興基本計画策定等委員会委員の委嘱について 議案第３５号 日高市教育事務の点検評価に係る学識経験者の委嘱について 議案第３６号 日高市地域学校協働活動推進員の委嘱について	０人

5	令和4年第7回	議案第37号 令和4年度日高市一般会計補正予算（第4号）（教育委員会所管） 議案第38号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について 議案第39号 日高市学校設置条例の一部を改正する条例 議案第40号 日高市立公民館の使用に関する条例施行規則の一部を改正する規則及び日高市立図書館の設置及び管理等に関する条例施行規則の一部を改正する規則の一部を改正する規則	0人
6	令和4年第8回	議案第41号 令和5年度当初教職員人事異動の方針について 議案第42号 日高市立図書館協議会委員の委嘱について 報告第5号 専決処理について	0人
7	令和4年第9回	報告第6号 専決処理について	0人
8	令和4年第10回	議案第43号 令和4年度日高市一般会計補正予算（第7号）（教育委員会所管） 議案第44号 日高市立学校教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則 議案第45号 学校運営協議会委員の任命について	0人
9	令和4年第11回	議案第46号 日高市スポーツ推進委員の委嘱について	0人
10	令和5年第1回	議案第1号 日高市教育委員会表彰に係る被表彰者の決定について	0人
11	令和5年第2回	議案第2号 令和4年度日高市一般会計補正予算（第9号）（教育委員会所管） 議案第3号 令和5年度日高市一般会計予算（教育委員会所管） 議案第4号 日高市立小・中学校職員服務規程の一部を改正する訓令 議案第5号 日高市教育委員会表彰に係る被表彰者の決定について 議案第6号 令和5年度当初日高市立小・中学校長及び教頭の人事の内申について	0人

12	令和5年第3回	議案第7号 令和5年度日高市教育行政重点施策の決定について 議案第8号 日高市子ども読書活動推進計画（第3次）の策定について 議案第9号 義務教育学校の設置に伴う関係規則の整理に関する規則 議案第10号 義務教育学校の設置に伴う関係規程の整理に関する訓令 議案第11号 義務教育学校の設置に伴う関係要綱の整理に関する告示 議案第12号 日高市教育委員会職員の人事行政の運営及び事務の執行に関する規則の一部を改正する規則 議案第13号 日高市教育委員会防犯カメラの設置及び運用に関する要綱 議案第14号 日高市社会教育委員の委嘱について 議案第15号 学校医の任免について 議案第16号 日高市文化財保護審議委員会委員の委嘱について 議案第17号 日高市教育委員会職員の人事について	1人
----	---------	---	----

教育委員会職員数

令和5年4月1日現在

	常勤職員	非常勤職員	会計年度任用職員等	合計
教育委員会	3	0	0	3
教育総務課	10	30	24	64
学校教育課	12	97	16	125
生涯学習課	34	65	15	114
小学校(前期課程含む)	162	0	35	197
中学校(後期課程含む)	129	0	18	147
合計	350	192	108	650

※兼務は上席・主担当に計上しています。

※教育総務課には学校教育センター職員を、学校教育課には教育センター職員を、生涯学習課には各公民館職員及び図書館職員を含みます。

非常勤特別職（内訳）	人数	所管部署
教育委員	4	教育総務課
教育振興基本計画策定等委員会委員	10	教育総務課
学校給食センター運営委員会委員	16	教育総務課
学校医・学校歯科医・学校薬剤師	36	学校教育課
いじめ問題専門委員会	7	学校教育課
学校運営協議会委員	54	学校教育課
青少年問題・いじめ問題対策連絡協議会委員	19	生涯学習課
社会教育委員	8	生涯学習課
文化財保護審議委員会委員	5	生涯学習課
スポーツ推進委員	25	生涯学習課
図書館協議会委員	8	図書館
合計	192	

会計年度任用職員、任期付き職員（内訳）	人数	所管部署
給食運搬員※小学校(前期課程含む)	15	教育総務課
給食運搬員※中学校(後期課程含む)	9	教育総務課
教育指導幹	2	学校教育課
学習支援員	2	学校教育課
教育指導員	3	学校教育課
教育相談員	2	学校教育課
教育相談員（臨床心理士）	2	学校教育課
ICT活動アドバイザー	3	学校教育課
図書整理員	2	学校教育課
社会教育指導員	1	生涯学習課
埋蔵文化財調査作業員※任用期間が1年未満	(13)	生涯学習課
一般行政事務員	6	公民館

用務員	6	公民館
図書館司書	2	図書館
学習支援員	9	小学校(前期課程含む)
ふれあい相談員※中学校(後期課程含む)が兼任	(6)	小学校(前期課程含む)
特別支援教育補助員	21	小学校(前期課程含む)
初任者研修非常勤講師等	3	小学校(前期課程含む)
小一問題対応非常勤講師	2	小学校(前期課程含む)
ふれあい相談員	6	中学校(後期課程含む)
免許外教科担任解消非常勤講師等	7	中学校(後期課程含む)
初任者研修非常勤講師等	2	中学校(後期課程含む)
特別支援教育補助員	3	中学校(後期課程含む)
合計	108	

児童生徒数・学級数

令和5年5月1日現在

学 校 名	児 童 ・ 生 徒 数								学 級 数							
	通常の学級						特援 別学 支級	合 計	通常の学級						特援 別学 支級	合 計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年			1年	2年	3年	4年	5年	6年		
高麗小	34	29	31	28	28	34	7	191	1	1	1	1	1	1	2	8
高麗川小	118	118	129	126	138	154	16	799	4	4	4	4	4	4	3	27
高萩小	82	68	93	80	95	93	22	533	3	2	3	3	3	3	4	21
高根小	20	29	24	19	24	37	17	170	1	1	1	1	1	1	3	9
高萩北小	76	81	73	102	98	103	20	553	3	3	3	3	3	3	4	22
小学校計	330	325	350	355	383	421	82	2246	12	11	12	12	12	12	16	87
高麗中	44	38	43				2	127	2	1	2				2	7
高麗川中	141	138	155				13	447	4	4	4				3	15
高萩中	89	87	116				11	303	3	3	3				2	11
高根中	29	42	45				9	125	1	2	2				2	7
高萩北中	104	129	117				10	360	3	4	3				2	12
中学校計	407	434	476				45	1362	13	14	14				11	52
武蔵台 小中前期 課程	27	26	28	40	34	38	5	198	1	1	1	2	1	1	2	9
武蔵台 小中後期 課程	37	34	38				4	113	1	1	1				2	5
小・武蔵 台小中 前期課程計	357	351	378	395	417	459	87	2444	13	12	13	14	13	13	18	96
中・武蔵 台小中 後期課程計	444	468	514				49	1475	14	15	15				13	57

未就学児数

令和5年5月1日現在

年 齢 等 学 校 名	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳
	R5. 4. 2～	R4. 4. 2～	R3. 4. 2～	R2. 4. 2～	H31. 4. 2～	H30. 4. 2～	H29. 4. 2～
	R6. 4. 1	R5. 4. 1	R4. 4. 1	R3. 4. 1	R2. 4. 1	H31. 4. 1	H30. 4. 1
高麗小	1	16	13	21	15	26	25
高麗川小	6	93	101	106	87	101	104
高萩小	2	51	59	70	68	77	88
高根小	0	17	19	24	20	19	22
高萩北小	4	41	47	43	55	54	60
武蔵台 小中前期	2	15	23	23	21	33	28
合 計	15	233	262	287	266	310	327

児童・生徒の推移

令和5年5月1日現在

区分 年度	小学校及び義務教育学校前期課程			中学校及び義務教育学校後期課程			児童・生徒 合 計
	学校数	学級数	児童数	学校数	学級数	生徒数	
平成24	6	107	3,198	6	50	1,435	4,633
平成25	6	110	3,226	6	51	1,458	4,684
平成26	6	117	3,268	6	48	1,459	4,727
平成27	6	116	3,270	6	49	1,500	4,770
平成28	6	112	3,214	6	52	1,535	4,749
平成29	6	111	3,127	6	54	1,587	4,714
平成30	6	108	3,040	6	55	1,586	4,626
令和1	6	104	2,962	6	56	1,579	4,541
令和2	6	100	2,828	6	57	1,558	4,386
令和3	6	99	2,680	6	59	1,574	4,254
令和4	6	98	2,544	6	58	1,535	4,079
令和5	6	96	2,444	6	57	1,475	3,919

令和5年3月中学校卒業者の進路状況

区 分				男	女	計	
高 等 学 校 等 進 学 者	全 日 制 本 科	県 内	国 立	4	2	6	
			公 立	1 6 9	1 7 0	3 3 9	
			私 立	7 1	4 8	1 1 9	
		県 外	国 立	0	0	0	
			公 立	0	0	0	
			私 立	1 1	9	2 0	
		小 計		2 5 5	2 2 9	4 8 4	
	定 時 制 本 科	県 内	公 立	1	0	1	
			私 立	0	0	0	
		県 外	公 立	0	0	0	
			私 立	0	0	0	
	小 計		1	0	1		
	通 信 制 本 科	県 内	公 立	0	5	5	
			私 立	1 2	6	1 8	
		県 外	公 立	0	0	0	
			私 立	6	7	1 3	
		小 計		1 8	1 8	3 6	
	高 等 専 門 学 校				0	0	0
	特 別 支 援 学 校				3	5	8
合 計				3	5	8	
専 修 ・ 各 種 学 校				0	0	0	
就 職 者				0	0	0	
家 事 従 事 ・ そ の 他				1	4	5	
卒 業 者 総 数				2 7 8	2 5 6	5 3 4	
進 学 率				9 9 . 6	9 8 . 4	9 9 . 1	

学校施設

(単位：㎡・m・人)

学校名	校 舎 面 積						校 地 面 積				屋内 運動場 面積 C	プール 延長	開校年月日	児童又 は生徒 人数 D	1人当たりの面積		
	鉄 筋	木造	その他	計 A	普通 教室	特別 教室	建設 敷地	運動場	その他	計 B					校舎 A/D	校地 B/D	屋内 運動場 C/D
高麗小	3,898		75	3,973	866	930	7,982	13,414		21,396	702	25×13	M20. 12. 2	191	20.80	112.02	3.68
高麗川小	6,406		209	6,615	2,116	1,080	12,774	10,755		23,529	971	25×13	T 5. 8. 1	799	8.28	29.45	1.22
高萩小	5,455		20	5,475	1,666	924	7,482	9,274		16,756	971		M21. 3. 21	533	10.27	31.44	1.82
高根小	4,748		68	4,816	1,102	1,358	11,795	10,759	4,785	27,339	907	25×13	S48. 1. 1	170	28.33	160.82	5.34
高萩北小	5,051		145	5,196	1,620	849	12,450	11,343		23,793	1,078	25×13	S53. 4. 1	553	9.40	43.03	1.95
合計	25,558		517	26,075	7,370	5,141	52,483	55,545	4,785	112,813	4,629			2,246	11.61	50.23	2.06
高麗中	4,891		100	4,991	719	1,522	12,022	12,892	6,712	31,626	1,539	25×15	S22. 4. 1	127	39.30	249.02	12.12
高麗川中	5,128		136	5,264	1,226	1,576	9,837	13,171		23,008	1,546	25×15	S22. 4. 1	447	11.78	51.47	3.46
高萩中	4,796		55	4,851	1,102	1,442	8,435	16,030		24,465	1,566	25×15	S22. 4. 1	303	16.01	80.74	5.17
高根中	5,072		102	5,174	1021	1,480	6,920	19,081	8,623	34,624	1,534	25×15	S58. 4. 1	125	41.39	276.99	12.27
高萩北中	4,780		117	4,897	829	1,517	8,598	18,604		27,202	1,587	25×15	S59. 4. 1	360	13.60	75.56	4.41
合計	24,667		510	25,177	4,897	7,537	45,812	79,778	15,335	140,925	7,772			1,362	18.49	103.47	5.71
武蔵台小 中	5,551		88	5,639	1,567	1,159	14,778	9,852		24,630	936	25×13	R5. 4. 1	311	18.13	79.20	3.01
合計	5,551		88	5,639	1,567	1,159	14,778	9,852		24,630	936			311	18.13	79.20	3.01

指定文化財一覧

	指定区分	種 類	名 称	員 数	所 在 地	指定年月
1	国	建造物	高麗家住宅	1 棟	新堀850	S46. 6
2	国	工芸品	銅鐘	1 口	新堀990-1	S37. 2
3	国	典籍	大般若経	456帖	新堀833	S38. 2
4	国	史跡	高麗石器時代住居跡	2 基	台79- 1	S26. 12
5	県	工芸品	応仁罌口	1 口	新堀990-1	S29. 3
6	県	旧跡	女影ヶ原古戦場		女影	S36. 9
7	県	古文書	町田家文書	14通	新堀671	S37. 3
8	県	建造物	高麗神社本殿	1 棟	新堀833	H 4. 3
9	市	考古資料	四本木の板石塔婆	1 基	原宿103	S55. 11
10	市	歴史資料	高麗氏系図	1 巻	新堀850	S55. 11
11	市	書跡	徳川将軍寺領寄進状	12通	新堀990-1	S55. 11
12	市	書跡	徳川将軍社領寄進状	12通	新堀833	S55. 11
13	市	史跡	高麗王若光墓	1 基	新堀990-1	S55. 11
14	市	建造物	聖天院山門	1 棟	新堀990-1	S57. 12
15	市	典籍	勝音寺大般若経	600帖	栗坪184	S57. 12
16	市	史跡	台の高札場跡	1 基	台121	S57. 12
17	市	無形民俗文化財	高麗神社の獅子舞		新堀833	S57. 12
18	市	無形民俗文化財	野々宮神社の獅子舞		野々宮146	S57. 12
19	市	無形民俗文化財	横手神社の獅子舞		横手509	S57. 12
20	市	無形民俗文化財	諏訪神社の獅子舞		栗坪239	S57. 12
21	市	有形民俗文化財	霞野神社の獅子舞諸道具	1 式	女影444	S57. 12
22	市	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	1 軀	新堀990-1	S62. 4
23	市	彫刻	木造不動明王及び両脇侍像	3 軀	新堀990-1	S62. 4
24	市	彫刻	木造観音勢至菩薩両立像	2 軀	新堀990-1	S62. 4
25	市	工芸品	聖天院元禄四年銅鐘	1 口	新堀990-1	S62. 4
26	市	彫刻	木造千手観音坐像及び両脇侍立像	3 軀	栗坪184	S62. 4
27	市	無形民俗文化財	八坂神社の祭ばやし		上鹿山170- 1	S62. 4
28	市	考古資料	大川戸家の宝篋印塔	1 基	横手667	S62. 4
29	市	彫刻	満蔵寺木造不動明王及び両脇侍像	3 軀	梅原266	H 2. 3
30	市	有形民俗文化財	野々宮神社奉納相撲場付、関係資料	1 基	野々宮146	H 2. 3
31	市	建造物	駒形神社の本殿	1 棟	高萩750	H 2. 3
32	市	建造物	霞野神社の本殿付、剣道の懸額	1 棟	女影444	H 2. 3
33	市	建造物	三島神社の本殿	1 棟	下大谷沢144	H 2. 3
34	市	史跡	三枝氏歴代の墓	8 基	女影1375の内	H 2. 3
35	市	史跡	大寺廃寺跡		山根字下大寺1316の内	H 2. 3
36	市	建造物	聖天院阿弥陀堂	1 棟	新堀990-1	H 2. 3
37	市	考古資料	高岡廃寺出土遺物	一括	栗坪92-2	H20. 3
38	市	考古資料	大寺廃寺出土遺物	一括	栗坪92-2	H20. 3
39	市	考古資料	若宮遺跡2・3次出土遺物(女影廃寺)	一括	栗坪92-2	H20. 3

国登録有形文化財一覧

	名 称	員 数	所 在 地	登録年月
1	旧新井家住宅主屋	1 棟	高麗本郷245	H26. 4
2	旧新井家住宅客殿	1 棟	高麗本郷245	H26. 4
3	旧新井家住宅納屋	1 棟	高麗本郷245	H26. 4
4	旧新井家住宅南土蔵	1 棟	高麗本郷245	H26. 4
5	旧新井家住宅北土蔵	1 棟	高麗本郷245	H26. 4
6	旧新井家住宅石垣	1 基	高麗本郷245他	H26. 4

※所在地は、日高市（大字）を省略しています。

教育委員会関係機関一覧

	名 称	所 在 地	電 話 番 号	F A X 番 号
1	日高市教育委員会	南平沢1020番地	989-2111	985-7792
2	高麗小学校	梅原 5 番地 1	989-1014	985-7741
3	高麗川小学校	南平沢335番地	989-0275	985-7740
4	高萩小学校	高萩800番地	989-2321	985-7195
5	高根小学校	中鹿山523番地 3	989-4982	985-7199
6	高萩北小学校	旭ヶ丘800番地	985-2020	985-7196
7	高麗中学校	梅原350番地	989-1017	985-7120
8	高麗川中学校	原宿49番地	989-1158	985-7121
9	高萩中学校	高萩792番地 1	989-2146	985-7122
10	高根中学校	女影1180番地	985-3633	985-7123
11	高萩北中学校	旭ヶ丘181番地 1	985-2112	985-7124
12	武蔵台小中学校	武蔵台五丁目 1 番 1 号	982-2221	982-3265
13	高萩公民館	高萩691番地 1	989-2145	989-9471
14	高麗川公民館	南平沢1098番地 2	989-9110	989-9429
15	高麗公民館	栗坪92番地 2	989-2381	989-7967
16	高麗川南公民館	中鹿山81番地 1	989-1000	989-9768
17	高萩北公民館	旭ヶ丘997番地 1	989-7322	989-9948
18	武蔵台公民館	武蔵台五丁目 1 番 2 号	982-2950	982-0244
19	市立図書館	鹿山370番地20	985-5121	984-1081
20	教育センター	鹿山370番地20	985-5123	989-6322
21	文化財資料室	栗坪92番地 2	985-0290	985-8779
22	高麗郷民俗資料館	梅原 2 番地	985-7383	
23	学校給食センター	鹿山19番地	985-3600	985-3602
24	文化体育館(ひだかアリーナ)	南平沢1010番地	985-2090	985-2007
25	市民プール	南平沢1121番地		
26	北平沢運動場	北平沢1009番地		
27	横手台グラウンド	横手一丁目1000番地3		
28	西部教育事務所	川越市新宿町一丁目17番地17 ウエスタ川越公共施設棟4階	(049) 242-1805	(049) 242-1685

※住所は日高市（大字）を、電話番号・F A X 番号は市外局番「042」を省略しています。

教育委員会表彰

年月日	種別		被表彰者
H25. 3. 1	児童生徒表彰	個人	16人
H26. 3. 17	教育関係職員表彰	個人	1人
H26. 3. 1	児童生徒表彰	個人	12人
H27. 3. 1	教育関係職員表彰	個人	4人
H27. 3. 1	児童生徒表彰	個人	12人
H28. 3. 1	教育関係職員表彰	個人	3人
H28. 3. 1	児童生徒表彰	個人	20人
H29. 3. 22	教育関係職員表彰	個人	2人
H29. 3. 1	児童生徒表彰	個人	13人
H30. 3. 23	教育関係職員表彰	個人	6人
H30. 3. 1	児童生徒表彰	個人	21人
H31. 3. 22	教育振興表彰	団体	ひ・まわり探検隊実行委員会
H31. 3. 22	教育振興表彰	個人	1人
H31. 3. 1	児童生徒表彰	個人	19人
R 2. 3. 19	教育振興表彰	個人	1人
R 2. 3. 19	教育振興表彰	団体	劇団どんぐり
R 2. 3. 19	教育関係職員表彰	個人	2人
R 2. 3. 1	児童生徒表彰	個人	20人
R 2. 3. 1	児童生徒表彰	団体	高萩中学校男子卓球部
R 2. 3. 19	教育関係職員表彰	個人	2人
R 3. 3. 1	児童生徒表彰	個人	21人
R 3. 3. 18	教育関係職員表彰	個人	4人
R 3. 3. 31	児童生徒表彰	個人	3人
R 4. 3. 1	児童生徒表彰	個人	26人
R 5. 3. 1	児童生徒表彰	個人	22人
R 5. 3. 1	児童生徒表彰	団体	高萩中学校男子ソフトテニス部

※平成25年3月1日以降の表彰から情報を掲載しています。

教育委員会関係略年表

年 月	事 項
明治20年12月	高麗小学校開校
21年 3 月	高萩小学校開校
大正 5 年 8 月	高麗川小学校開校
昭和22年 4 月	高麗中学校開校
22年 4 月	高麗川中学校開校
22年 4 月	高萩中学校開校
23年 4 月	高萩公民館開館（昭和49年 1 月現在地に移転）
27年11月	教育委員会発足
30年 2 月	高麗村と高麗川村合併により日高町となる
30年10月	高麗川公民館開館（昭和51年 7 月現在地に移転）
31年 9 月	高萩村が日高町に編入合併
31年10月	教育委員が任命制となる
35年 4 月	高麗公民館開館（昭和50年 6 月現在地に移転）
38年 9 月	小学校給食開始
38年11月	中学校給食開始
44年 8 月	旧体育館完成（平成14年 5 月文化体育館開館に伴い廃止）
48年 1 月	高根小学校開校
49年 4 月	県立日高高等学校開校
52年 5 月	学校給食センター（旧第一学校給食センター）建設
53年 4 月	高萩北小学校開校
53年 7 月	市民プールオープン
55年 4 月	高麗川南公民館開館
55年 4 月	武蔵台小学校開校
57年 4 月	旧図書館開館（平成元年 8 月新図書館開館に伴い分室とし、平成 4 年 3 月廃止）
57年 4 月	高萩北公民館開館
58年 4 月	高根中学校開校
58年 4 月	学校給食センター（旧第二学校給食センター）建設
58年11月	武蔵台公民館開館
59年 4 月	高萩北中学校開校
59年 4 月	県立日高養護学校開校（平成21年 4 月県立日高特別支援学校に校名変更）
59年 4 月	学校運動場夜間照明施設利用開始
59年 6 月	移動図書館開始（平成19年 9 月廃止）
60年 4 月	北平沢運動場利用開始
62年 2 月	新庁舎で業務開始

平成元年 4 月	武蔵台中学校開校
元年 7 月	生涯学習センター開館
元年 7 月	教育センター業務開始
元年 8 月	新図書館開館
3 年 4 月	総合公園全面オープン
3 年 4 月	高麗郷民俗資料館開館
3 年 10 月	市制施行
6 年 4 月	飯能市立図書館との相互利用開始
9 年 4 月	川越都市圏内公立図書館の相互利用開始
10 年 4 月	中央公民館開館
11 年 4 月	埼玉女子短期大学開校
12 年 4 月	川越都市圏内公共施設（高麗郷民俗資料館・市民プール・北平沢運動場・総合公園）の相互利用開始（文化体育館は平成18年 4 月から）
12 年 10 月	情報公開制度の開始
14 年 4 月	高等学校等入学準備金融融資制度の開始
14 年 5 月	文化体育館開館
15 年 7 月	個人情報保護制度の開始
16 年 10 月	第59回国民体育大会弓道競技会が日高市で実施
19 年 9 月	第一・第二学校給食センター統合
20 年 4 月	教育次長制を廃止し、部制の組織とする
20 年 4 月	中央公民館を廃止し、その機能を高麗川公民館に移転する
20 年 4 月	教育事務の点検評価制度の開始
22 年 4 月	埼玉医科大学国際医療センター内に高麗川小学校病弱・身体虚弱特別支援学級（院内学級）を設置
23 年 4 月	教育振興基本計画の開始
25 年 4 月	学校教育部と生涯学習部を統合し、教育部とする
25 年 4 月	高麗川公民館で行っていた中央公民館機能を生涯学習課に統合
25 年 4 月	文化財室移転
27 年 4 月	文化体育館、総合公園及び学校体育施設等に指定管理者制度を導入
27 年 4 月	総合公園を都市整備部都市計画課に移管
28 年 4 月	教育委員長と教育長を一本化
	第 2 期教育振興基本計画の開始
28 年 4 月	図書館を生涯学習課所管とする
28 年 5 月	高麗郡建郡1300年記念祭開催
28 年 10 月	横手台グラウンド利用開始
31 年 4 月	埼玉県西部地域まちづくり協議会（ダイアプラン）への加入
令和 2 年 3 月	GIGAスクール構想に基づき、全児童生徒に学習用端末を貸与
2 年 4 月	コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を開始
3 年 4 月	第 3 期教育振興基本計画の開始

令和3年4月	埼玉医科大学国際医療センター内に高麗川中学校病弱・身体虚弱特別支援学級（院内学級）を設置
令和4年10月	高萩公民館新築移転
令和5年4月	義務教育学校武蔵台小中学校開校

令和 5 年度 日高の教育
編集・発行 日高市教育委員会
〒350-1292 埼玉県日高市大字南平沢 1020 番地
TEL042-989-2111（代表）

有償頒布価格 300 円